
小中高生を対象とした18歳市民力に関する意識調査 報告書

令和4(2022)年11月

令和2(2020)～令和4(2022)年度

日本学術振興会・科学研究費補助金(基盤研究B)(課題番号:20H01670)

目 次

1 調査研究の概要 -----	(1)
(1) 日本公民教育学会の科学研究費プロジェクト (3)	
(2) 調査研究の概要 (4)	
(3) 質問紙の構成 (5)	
2 調査研究結果の概要 -----	(7)
(1) 就きたい職業 (9)	
(2) 社会的関心 (10)	
(3) 学校生活 (11)	
学校内外での経験 (11) 教室風土 (13) 社会科観 (15)	
(4) 政治リテラシー (16)	
政治知識 (16) 政治意見 (17)	
(5) 法リテラシー (18)	
法知識 (18) 法意見 (19)	
(6) 経済リテラシー (21)	
経済知識 (21) 経済意見 (23)	
(7) 倫理リテラシー (24)	
倫理知識 (24) 倫理意見 (25)	
(8) 「18歳市民」についての意識 (29)	
18歳は大人か (29) 18歳で適用すること (31) よい大人の市民 (33)	
3 基礎集計結果 -----	(35)
(1) 基本情報・属性等 (37)	
(2) 社会的関心 (38)	
(3) 学校生活 (39)	
(4) 政治リテラシー (42)	
(5) 法リテラシー (44)	
(6) 経済リテラシー (46)	
(7) 倫理リテラシー (48)	
(8) 「18歳市民」についての意識 (51)	
4 調査票 -----	(57)
(1) 小学生用 (59)	
(2) 中学生用 (67)	
(3) 高校生用 (75)	

1 調査研究の概要

(1) 日本公民教育学会の科学研究費プロジェクト

日本公民教育学会は、日本学術振興会による科学研究費補助金の助成を受け、2020（令和2）年度～2022（令和4）年度の3年間の計画で、「科学研究費プロジェクト（略称：科研プロジェクト）」を実施した。科学研究費の研究課題名は「18歳市民力を育成する社会科・公民科の系統的・総合的教育課程の編成に関する研究」である。本報告書で報告する「小中高生を対象とした18歳市民力に関する意識調査」は、この研究の一環として実施されたものである。

科研プロジェクトでは、以下のことを明らかにすることを目的とした。

選挙権年齢と成人年齢の18歳への引き下げという法律改正の中で、これまで以上に市民としての役割が期待される18歳という年齢に着目し、小中学校の教科「社会」と高等学校の教科「公民」を通して如何にしたら「18歳市民力」を育成できるかについて、教育目標・教育内容・教育方法の各側面から体系的にアプローチし、系統的・総合的教育課程編成の在り方を明らかにすること

なお、「18歳市民力」について、本プロジェクトでは暫定的に「18歳までに身に付けるべき、社会的課題の解決に主体的に取り組むために必要とされる基礎的な資質・能力」と定義して研究を開始し、研究終了時に改めて研究全体を振り返って、この「18歳市民力」の定義を再確認するという方法を採用した。本報告書で紹介する意識調査は、「18歳市民力」を定義するにあたって、貴重なデータになると考えている。

なお、科研プロジェクトでは、研究の遂行にあたり、3つの研究グループを設けた。

【国内実態調査研究】

国内における質問紙調査の実施・分析、教員へのインタビュー調査の実施・分析。

【海外比較調査研究】

海外における18歳市民力に関わる社会系教科における取組の調査・分析（教育課程及び授業実践）。

【実践研究】

「政治」「法」「経済」「倫理」の4つのグループに分かれて、教育実践研究を実施。

本報告書で紹介する意識調査は、国内実態調査研究グループが中心となって進めたものである。しかし、その結果は、他の研究グループでも共有され、各々の研究に生かされる。まずは児童生徒の実態をつかみ、実態に基づいて18歳市民力の育成に関わりカリキュラムや単元を構想するという形で、意識調査の結果は、研究全体の充実に生かされることになる。

(2) 調査概要

①調査概要

- 調査目的：「18歳までに身に付けるべき、社会的課題の解決に主体的に取り組むために必要とされる基礎的な資質・能力」としての「18歳市民力」を、質問紙によって計測可能な範囲で具体化することにより、児童生徒の「18歳市民力」の実態を明らかにし、社会科・公民科の教育課程編成を行う上での参考資料とする。
- 調査時期：令和3（2021）年8月～11月
- 調査方法：有意抽出による集合調査法。科研プロジェクトの協力者が関係する学校に依頼し、実施した。
- 調査対象：全国の小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生の児童生徒から、それぞれ2000名（調査計画時）。

②回収数

校種・学年	小学5年	中学2年	高校2年	合計
回収数	2272	2041	2238	6551
協力校数	35	21	12	68

③回答者の性別と科目履修状況

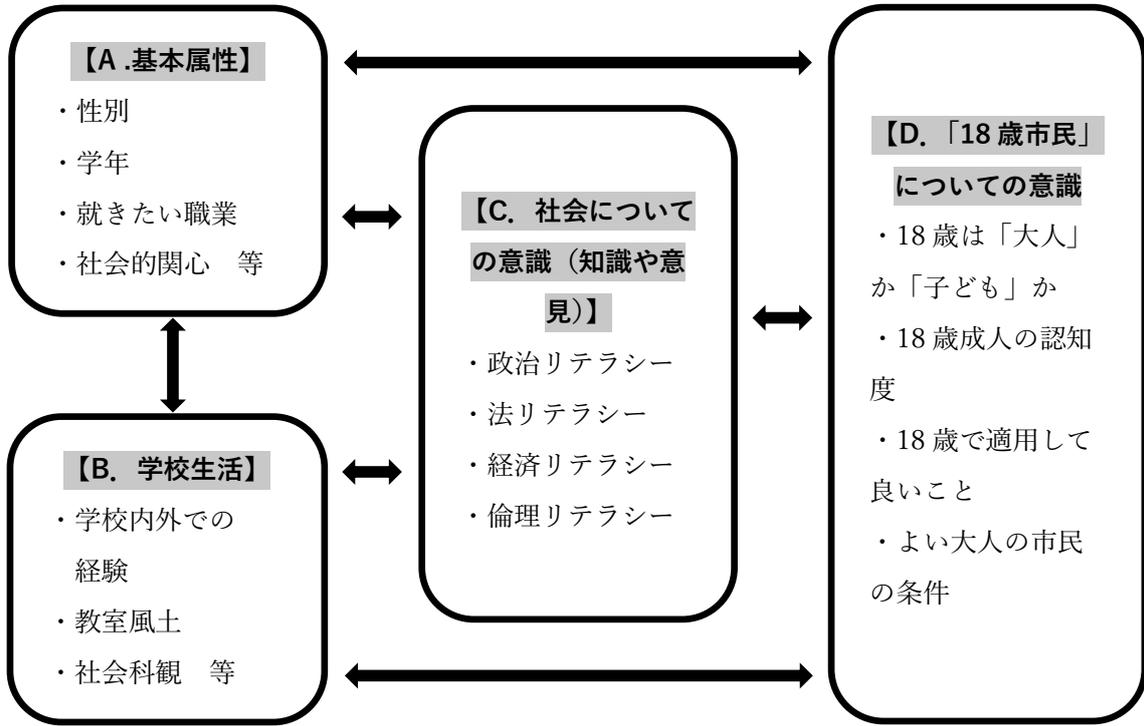
Q あなたの性別をお答えください。

		女性	男性	回答しない	無回答	合計
小学5年	N	1078	1103	72	19	2272
	%	47.4	48.5	3.2	0.8	100.0
中学2年	N	1024	958	49	10	2041
	%	50.2	46.9	2.4	0.5	100.0
高校2年	N	1109	1075	47	7	2238
	%	49.6	48.0	2.1	0.3	100.0

Q 次の科目の履修状況を教えてください。（高校生のみ）

		1年生で履修済み	2年生で履修中	履修していない
現代社会	N	729	562	947
	%	32.6	25.1	42.3
倫理	N	105	187	1946
	%	4.7	8.4	87.0
政治・経済	N	0	332	1906
	%	0.0	14.8	85.2

(3) 質問紙の構成



〈参考〉質問紙

(小学生用)

調査票(小学生用)

この調査は、選挙権年齢改定(18歳への引き上げ)をめぐって、18歳までに身に付けるべき、社会的意識の醸成に主体的に取り組むための調査です。基本的な調査(知見)は「18歳市民力」について、10代の皆さんへの調査を主として行い、今後の学校教育の参考資料とする予定です。

以下の注意事項をよく読んでから、回答をお願いします。

- 調査票は、お一人お一人に配布されます。回答時間は約10分です。
- 回答は、**必ず自分の筆名に記入し、()の中に番号を記入してください。**
- 調査の結果は、回答者個人や特定の個人を特定するようには処理いたしませんので、安心してご回答ください。
- 調査の結果は、学校での成績や、クラスではあはれませんが、**匿名で集計してご報告させていただきます。**
- もし答えに迷った場合は、先生に尋ねてください。また、途中でなくても回答を中止することができます。回答しない場合は、**必ず「回答しない」に記入してください。**
- この調査票に回答することで、調査への協力をいただいたものとします。ご協力をお願いします。

調査票(小学生用) 調査票(小学生用) TEL: 029-853-6730 E-mail: karaki@human.tshuokai.ac.jp
 調査票(小学生用) 調査票(小学生用) TEL: 029-853-5606 E-mail: shiroki@human.tshuokai.ac.jp

深のこのについて、()には番号を記入し、番号は○をつけてください。

F-1 あなたの出身番号を教えてください。()

F-2 あなたの所属している学校は、次のうちどれですか。

1. 調査 2. 公立(普通科)または私立(普通科) 3. 私立

F-3 あなたは、何年生ですか。()年生

- 1 -

(中学生用)

調査票(中学生用)

この調査は、選挙権年齢改定(18歳への引き上げ)をめぐって、18歳までに身に付けるべき、社会的意識の醸成に主体的に取り組むための調査です。基本的な調査(知見)は「18歳市民力」について、10代の皆さんへの調査を主として行い、今後の学校教育の参考資料とする予定です。

以下の注意事項をよく読んでから、回答をお願いします。

- 調査票は、お一人お一人に配布されます。回答時間は約20分です。
- 回答は、**必ず自分の筆名に記入し、()の中に番号を記入してください。**
- 調査の結果は、回答者個人や特定の個人を特定するようには処理いたしませんので、安心してご回答ください。
- 調査の結果は、学校での成績や、クラスではあはれませんが、**匿名で集計してご報告させていただきます。**
- もし答えに迷った場合は、先生に尋ねてください。また、途中でなくても回答を中止することができます。回答しない場合は、**必ず「回答しない」に記入してください。**
- この調査票への回答をもって、調査への協力をいただいたものとします。ご協力をお願いします。

調査票(中学生用) 調査票(中学生用) TEL: 029-853-6730 E-mail: karaki@human.tshuokai.ac.jp
 調査票(中学生用) 調査票(中学生用) TEL: 029-853-5606 E-mail: shiroki@human.tshuokai.ac.jp

F-1 あなたの出身番号を教えてください。()

F-2 あなたの所属している学校は、次のうちどれですか。

1. 調査 2. 公立(普通科)または私立(普通科) 3. 私立

F-3 あなたは、何年生ですか。()年生

- 1 -

(高校生用)

調査票(高校生用)

この調査は、選挙権年齢改定(18歳への引き上げ)をめぐって、18歳までに身に付けるべき、社会的意識の醸成に主体的に取り組むための調査です。基本的な調査(知見)は「18歳市民力」について、10代の皆さんへの調査を主として行い、今後の学校教育の参考資料とする予定です。

以下の注意事項をよく読んでから、回答をお願いします。

- 調査票は、お一人お一人に配布されます。回答時間は約20分です。
- 回答は、**必ず自分の筆名に記入し、()の中に番号を記入してください。**
- 調査の結果は、回答者個人や特定の個人を特定するようには処理いたしませんので、安心してご回答ください。
- 調査の結果は、学校での成績や、クラスではあはれませんが、**匿名で集計してご報告させていただきます。**
- もし答えに迷った場合は、先生に尋ねてください。また、途中でなくても回答を中止することができます。回答しない場合は、**必ず「回答しない」に記入してください。**
- この調査票への回答をもって、調査への協力をいただいたものとします。ご協力をお願いします。

調査票(高校生用) 調査票(高校生用) TEL: 029-853-6730 E-mail: karaki@human.tshuokai.ac.jp
 調査票(高校生用) 調査票(高校生用) TEL: 029-853-5606 E-mail: shiroki@human.tshuokai.ac.jp

F-1 あなたの出身番号を教えてください。()

F-2 あなたの所属している学校は、次のうちどれですか。

1. 調査 2. 公立(普通科)または私立(普通科) 3. 私立

F-3 あなたは、何年生ですか。()年生

F-4 次の科目の履修状況を教えてください。

a. 経済学 1. () 2. 今年履修済み 3. 履修していない

b. 倫理 1. () 2. 今年履修済み 3. 履修していない

c. 政治学 1. () 2. 今年履修済み 3. 履修していない

d. その他 1. () 2. 今年履修済み 3. 履修していない

(? 履修する学校教科科目等がある場合は、先生の指示に従って記入)

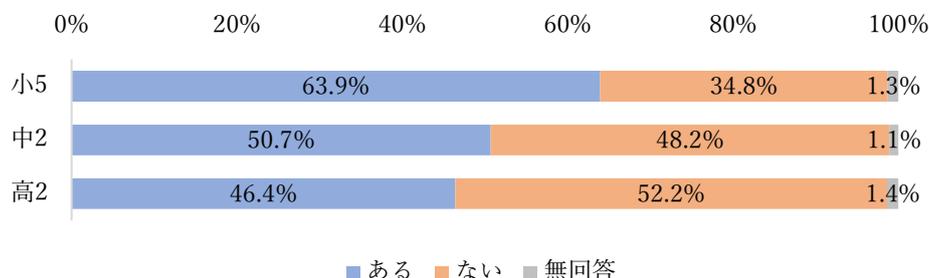
- 1 -

2 調査研究結果の概要

(1) 就きたい職業

小学生、中学生、高校生と校種が上がるにつれて、児童生徒はだんだんと将来つきたい職業が「ある」と答えなくなる傾向にある。

Q 今、将来つきたい職業がありますか。



「ある」と答えた児童生徒には、具体的に記述してもらった。

小5 (※1)		中2 (※2)		高2 (※3)	
#	抽出語	#	抽出語	#	抽出語
	頻度		頻度		頻度
1	選手	1	選手	1	看護
2	医者	2	看護	2	保育
3	先生	3	教師	3	教師
4	野球	4	医者	4	建築
5	サッカー	4	先生	5	公務員
6	プロ	6	薬剤	6	美容
7	ユーチューバー	7	サッカー	6	薬剤
7	薬	7	保育	8	先生
9	イラストレーター	9	野球	9	エンジニア
10	動物	10	プロ	9	教諭
11	パティシエ	10	美容	11	療法
12	ゲーム	12	スポーツ	12	教員
12	ファッションデザイナー	12	医療	13	スポーツ
14	スポーツ	14	医師	14	栄養士
14	マンガ	14	建築	14	理学
14	小学校	16	獣医	16	警察官
14	保育	17	プログラマー	16	消防
18	会社	17	公務員	16	幼稚園
18	学校	19	イラストレーター	19	デザイナー
18	料理	20	助産	19	プログラマー
21	デザイナー	20	消防	19	研究
21	プログラマー	22	デザイナー	22	動物
		22	音楽	23	小学校
		22	声優	24	カウンセラー
		25	警察官	24	トレーナー
				24	会社
				24	選手
				24	体育

(※1) 人(41), ざ(35), 仕事(34), ゆ(31), 関係(24), び(15), ようし(15), 職業(15)を除いた

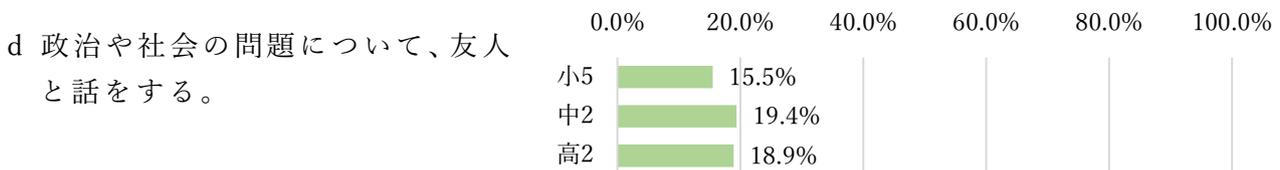
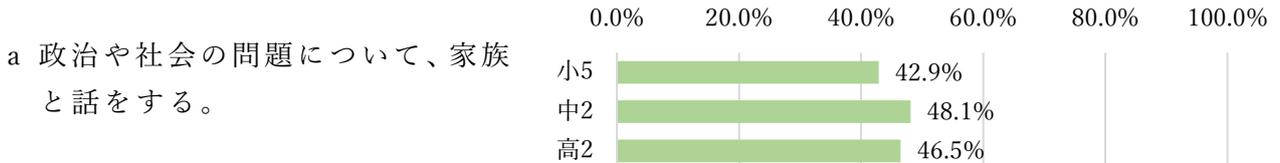
(※2) 関係(63), 仕事(47), 職業(23), 関わる(13), 人(13), 関連(12)を除いた。

(※3) 関係(60), 仕事(30), 職業(11), スタッフ(10)を除いた (カッコ内は頻度)

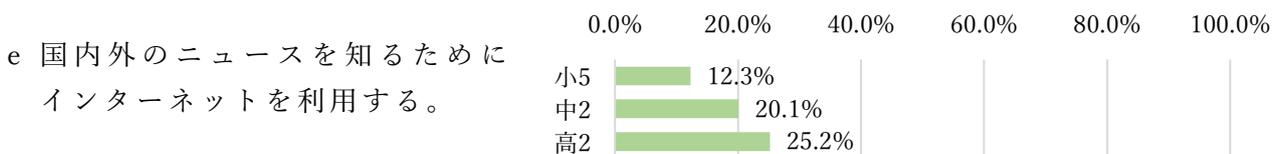
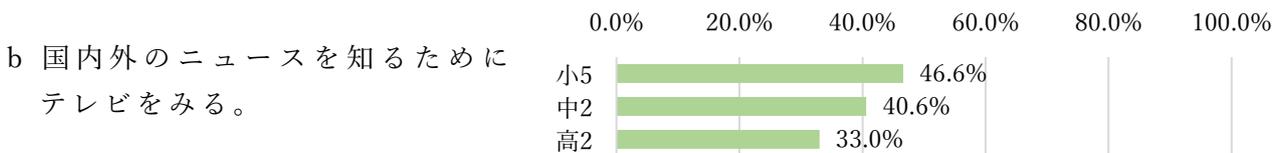
(2) 社会的関心

政治や社会の問題を友人と話す児童生徒は、小学生、中学生、高校生ともに少数である。また、ニュースを知るためのメディアは、小学生はテレビ、中学生はテレビとインターネット、高校生はインターネットが多い傾向にある。一方で、新聞を読む児童生徒はすべての校種で少ない。インターネットや SNS を活用して、政治や社会の問題について発信をする児童生徒も、校種に関係なく少数である。

Q あなたはふだん、次の a~g のことをどれくらいしますか。



※「ほぼ毎日する」+「週1回以上する」の%



※「ほぼ毎日する」の%

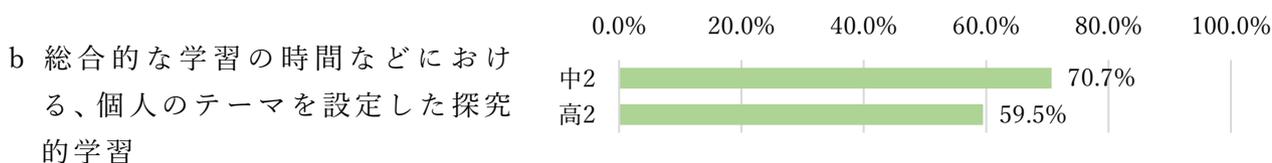
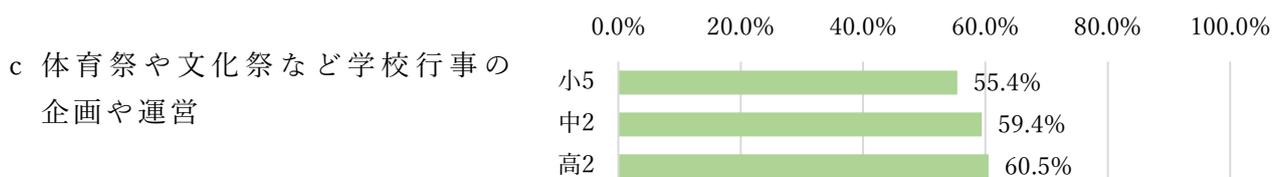
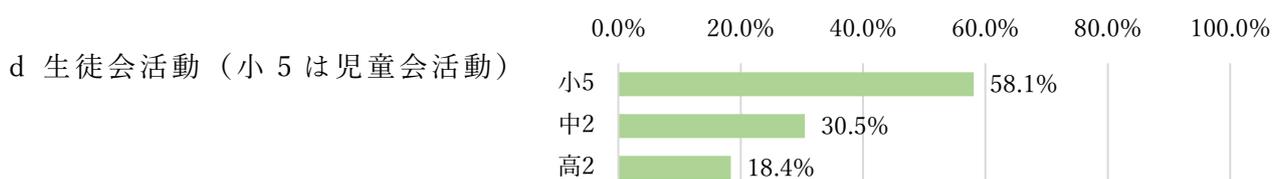
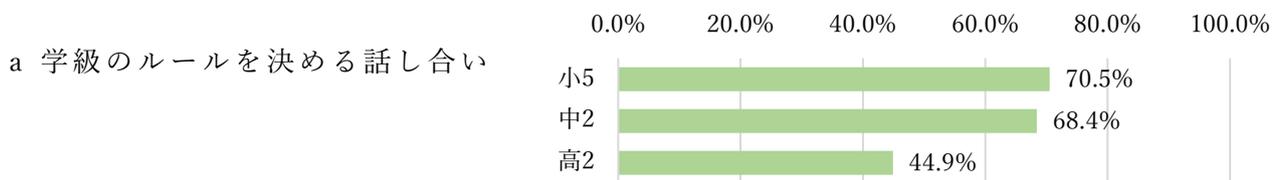


※「ほぼ毎日する」+「週1回以上する」の%

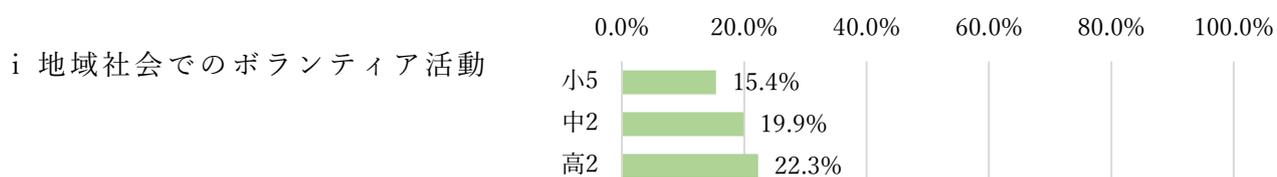
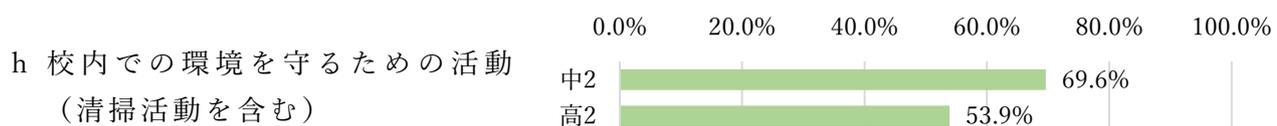
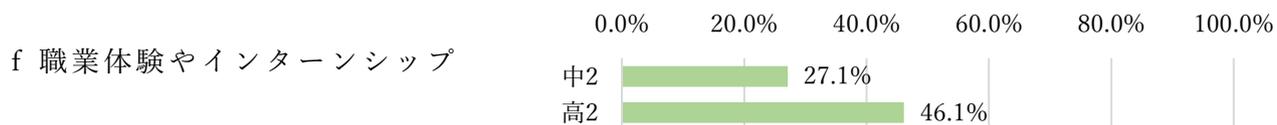
(3) 学校生活 学校内外での経験

特別活動における学級会（ホームルーム活動）と児童会（生徒会）の活動に、小学生、中学生、高校生は校種が上がるにつれてだんだんと取り組まなくなる。また、中学生も高校生も、校内における環境美化活動には熱心に取り組むが、地域社会や国際社会における体験活動にはほとんど取り組まない。

Q これまでに、次の a～j のことに意欲的に取り組んだことがありましたか。



※ 「取り組んだ」の%

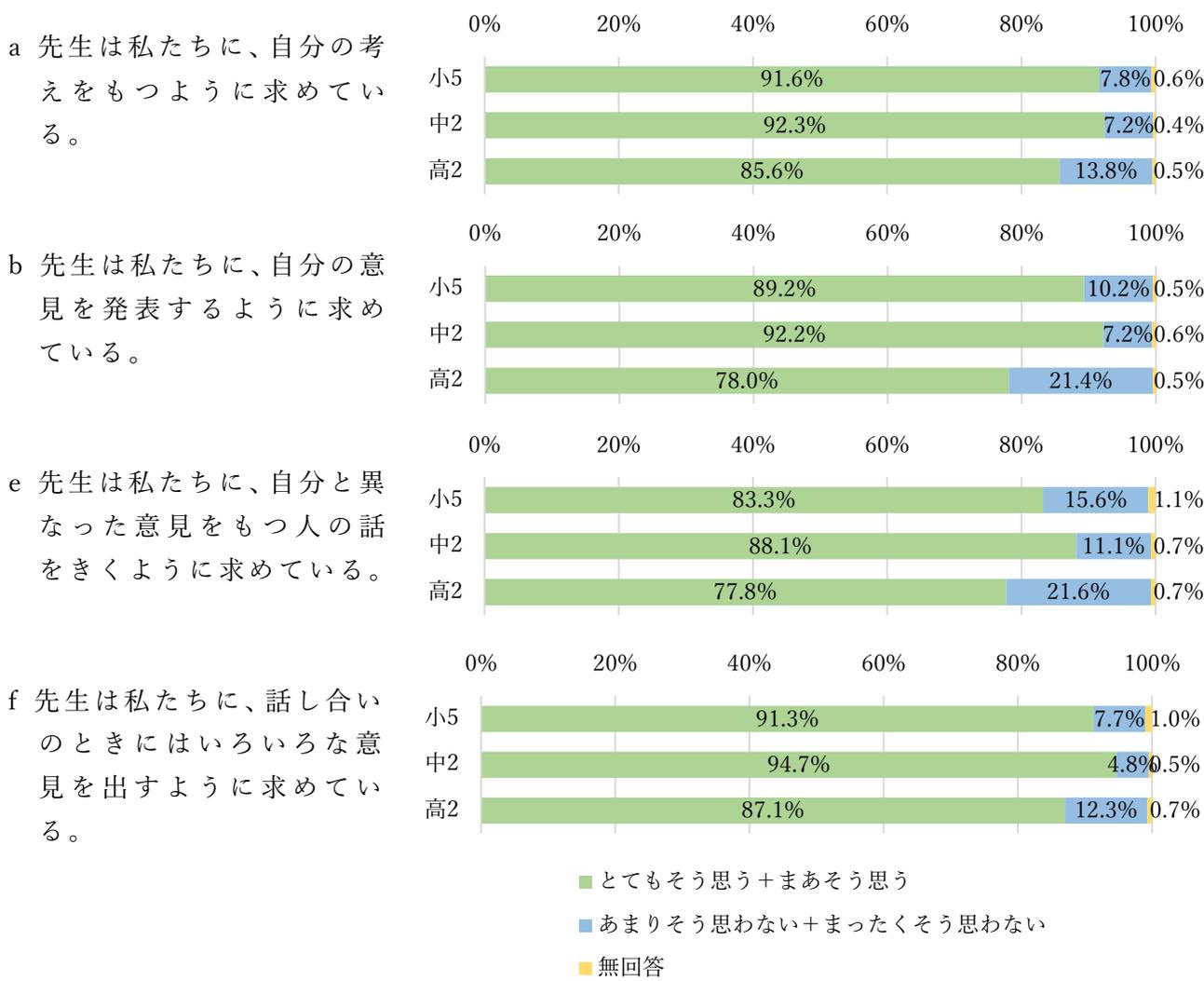


※「取り組んだ」の%

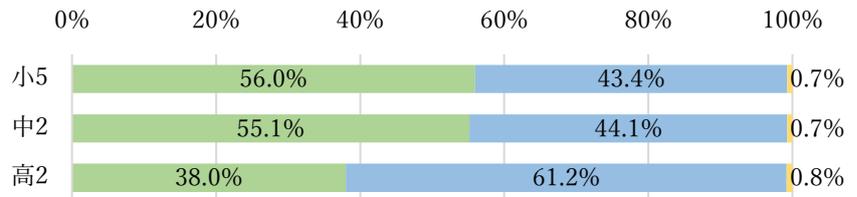
(3) 学校生活 教室風土

小学校、中学校、高校の多くの授業で、政治や社会の問題を取り上げて、話し合いが進められている。また、多くの先生が、生徒に自分の意見を発表するように求めている。ただし、その数は高校生になるにつれて少なくなる傾向にある。さらに、授業の中で、社会の問題を話す生徒や人と異なる意見を言う生徒の数は全体の半数程度に留まる。その数も高校生になるにつれて、少なくなる傾向にある。

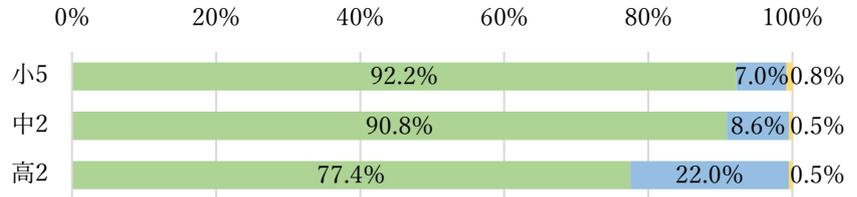
Q 日常の授業で政治や社会の問題について話し合いをする時、次の a~g のことはどのくらい思いますか。



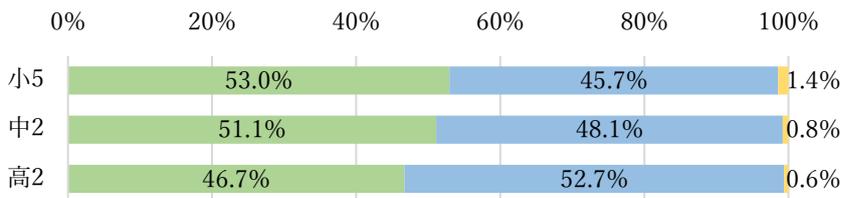
c 話し合いの中で、社会にみられる問題について話す人がクラスにいる。



d 人と意見がちがっていても、自分の意見を言う人がクラスにいる。



g 先生と異なった自分の意見を、ためらいなく発言することができる。

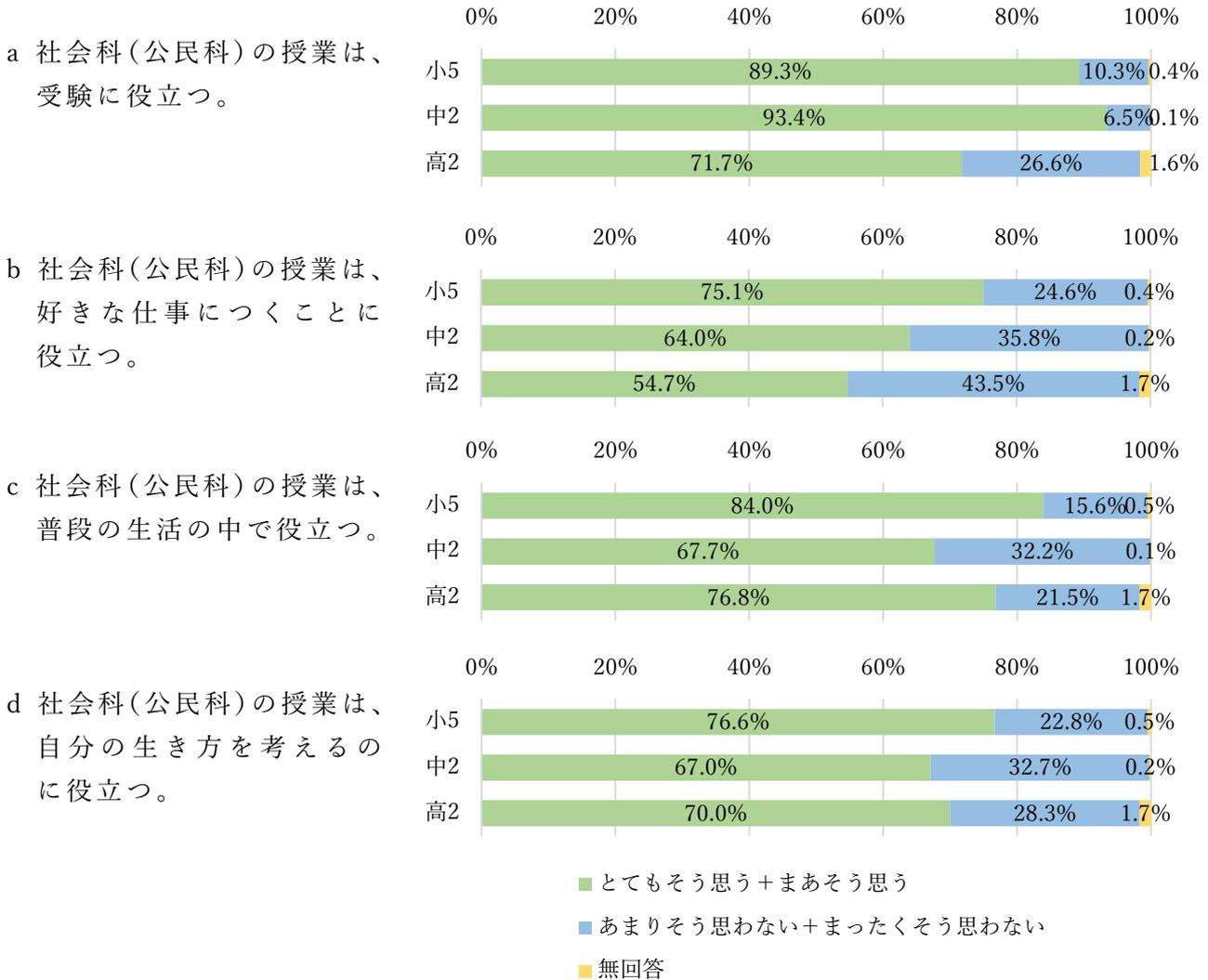


- とてもそう思う+まあそう思う
- あまりそう思わない+まったくそう思わない
- 無回答

(3) 学校生活 社会科観

社会科（公民科）は、受験、仕事、生活、生き方に役立つ教科として、児童生徒に評価されている。特に小学生の社会科に対する評価は、受験に役立つと答えた中学生を除いて、中学生や高校生よりも高い。

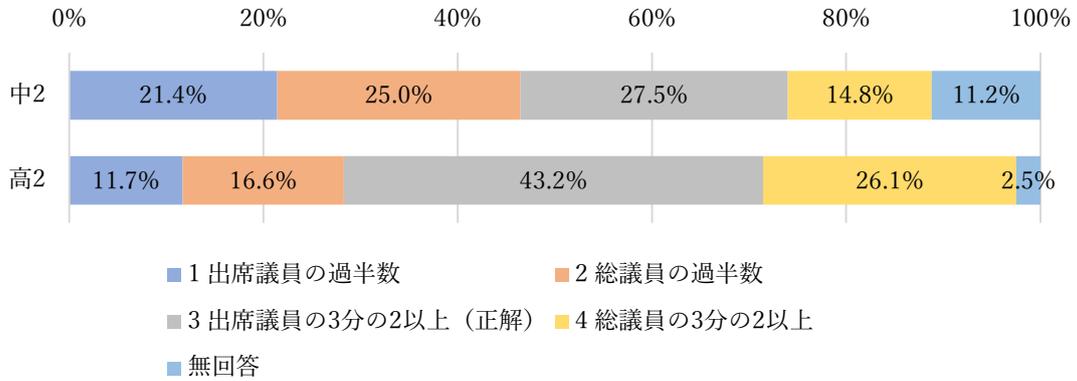
Q 社会科（高校は公民科）の授業に関する次の a～d の意見について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか。



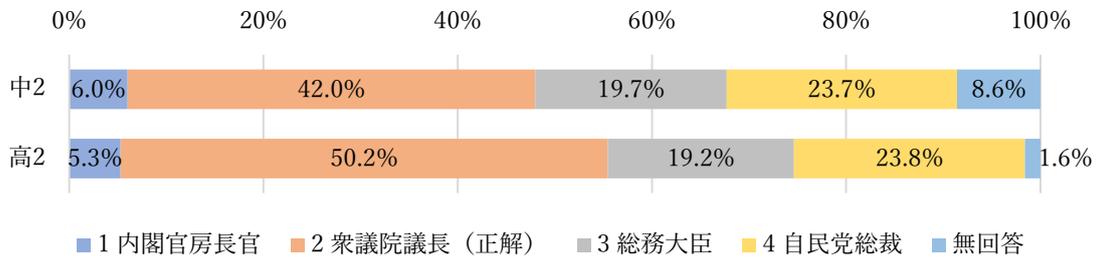
(4) 政治リテラシー 政治知識

政治知識の習得は、中学生も高校生も、必ずしも十分とは言えない。

Q 一つの法律案について衆議院と参議院で議決の結果が異なる場合に、衆議院でもう一度議決をして法律案を可決させる場合の条件は、次の1～4のうちどれですか。



Q 写真の人物 [=菅義偉] が内閣総理大臣になる前に任命されたことがない役職は、次の1～4のうちどれですか。



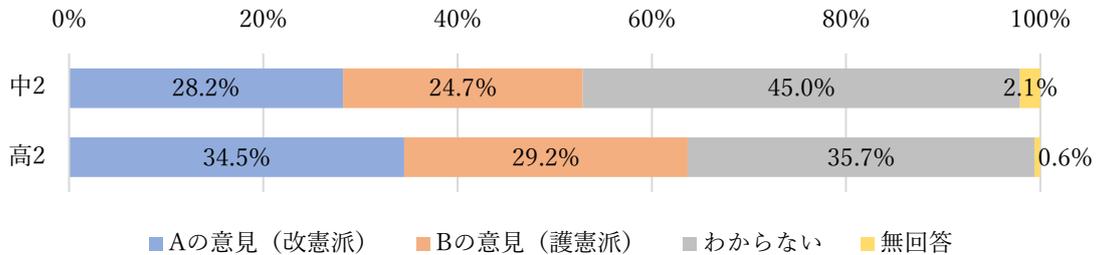
(4) 政治リテラシー 政治意見

小学生、中学生、高校生の政治参加意識は低い。また、小学生から高校生へと、政治参加意識は徐々に低下する傾向も見られる。

Q 憲法改正について、あなたの意見は、次のA、Bのどちらの意見に近いですか。

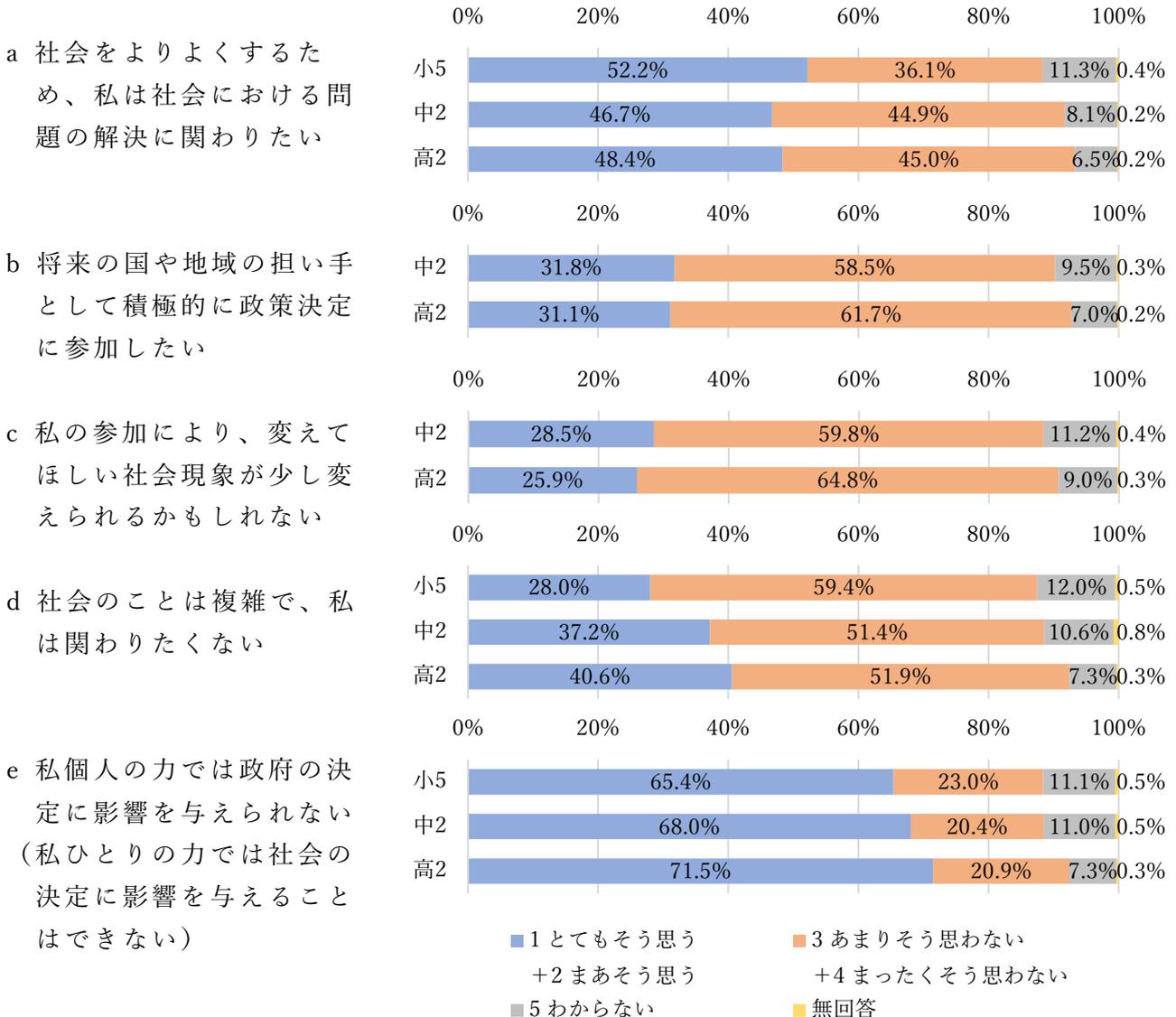
A 今の憲法は時代に合わなくなっているので、早い時期に改憲した方がよい。

B 今の憲法は大筋として立派な憲法であるから、現在は改憲しない方がよい。



Q 次のa～eの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に一つずつ○をつけてください。

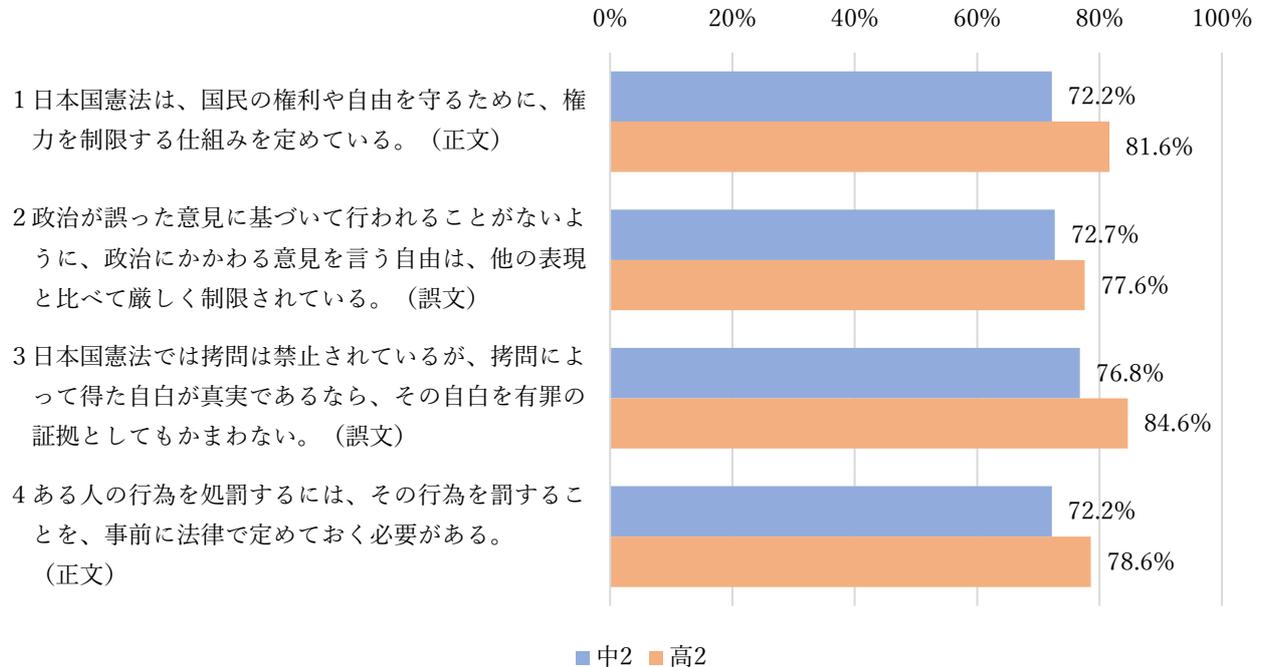
※小学生には () 内の文言を用いた。



(5) 法リテラシー 法知識

法知識の習得は、日本国憲法に関して言えば、十分であると考えられる。

Q 次の文章のうち、正しいものをすべて選んで番号に○をつけてください。



※上記数値 (%) は正答率を示している。

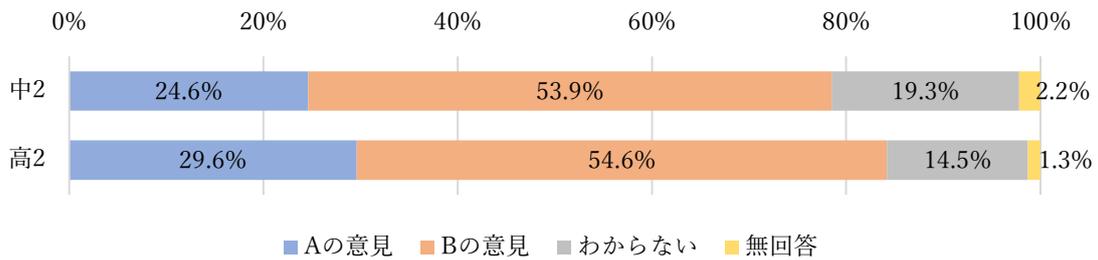
(5) 法リテラシー 法意見

中学生も高校生も、制裁は回避すべきだが、死刑は容認する傾向にある。また、自分の利益よりも全体の利益を優先すべきであると考える傾向は小学生、中学生、高校生とだんだんと高くなり、逆に、法遵守を望む傾向は小学生、中学生、高校生とだんだんと低くなる。

Q 法についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか

A「法律というのは守るためにあるのだから、違反した場合は必ず制裁を加えるということではなければ意味がない」

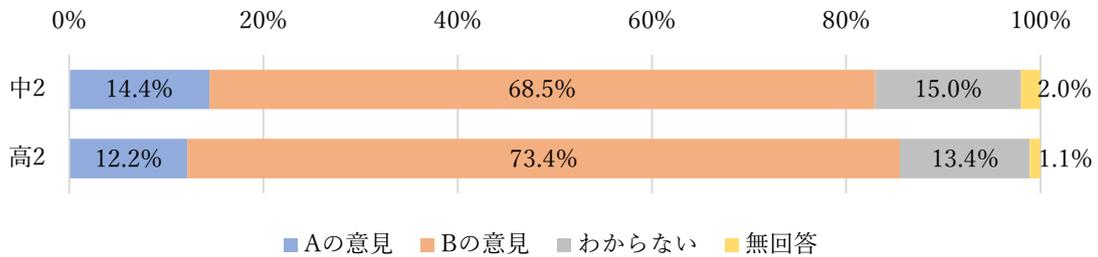
B「法律というのは状況によって制裁を加えるかどうかを判断すべきもので、文字通りに適用するのはよくない」



Q 法についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

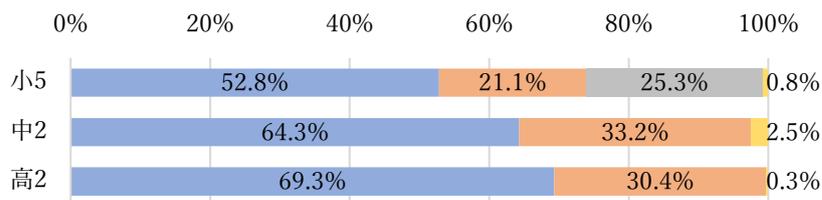
A「死刑はどんなときにもおこなうべきでない」

B「場合によっては死刑もやむをえない」

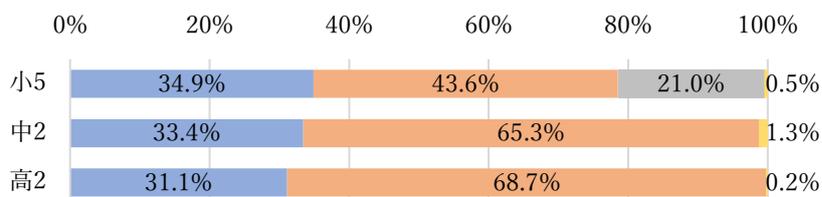


Q 次のa～dの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に一つずつ○をつけてください。

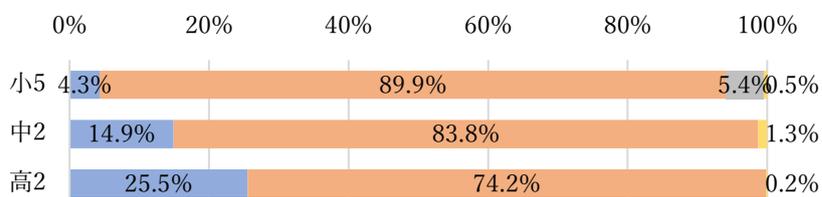
a それぞれが自分の権利や自由を主張すると、みんなの調和を乱し、全体の利益や秩序が損なわれることになる。※



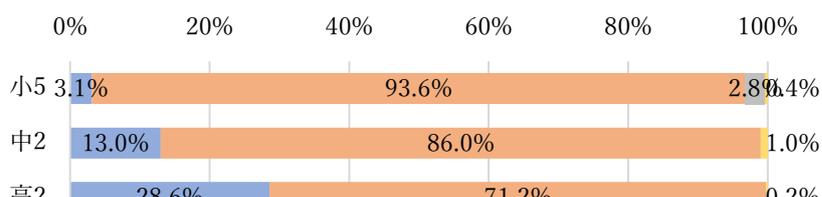
b 女性の社会参加を実現するために、就職の際に女性を優先的に採用するべきである。



c 法律に違反しなければ、多少悪いことをしてもかまわない。



d 他人に迷惑をかけなければ、赤信号を渡ってもかまわない。



■ 1 とてもそう思う ■ 3 あまりそう思わない
 +2 まあそう思う +4 まったくそう思わない
 ■ 5 わからない ■ 無回答

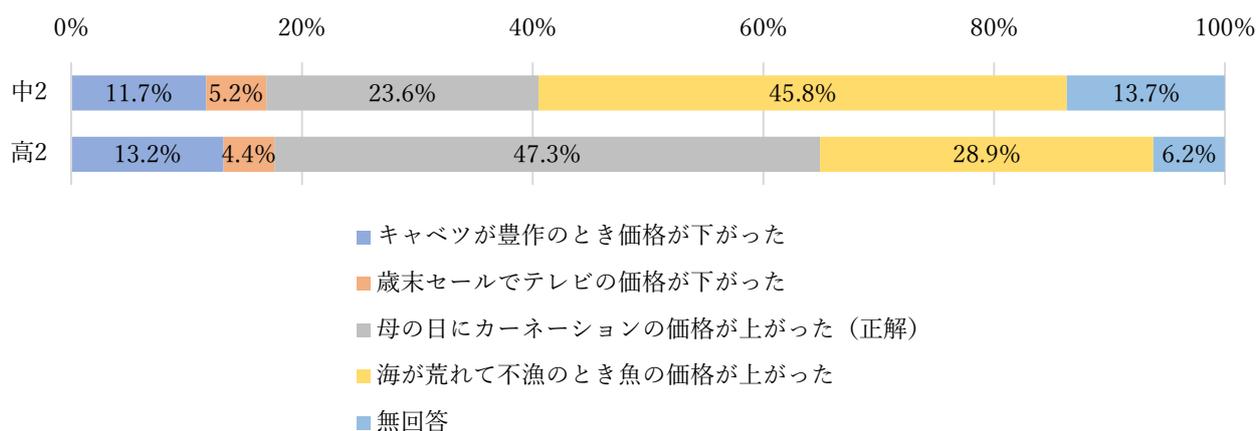
※小学生には「一人ひとりが自分の権利や自由を主張すると、調和が乱れ、全体の利益や秩序が損なわれることになる。」との文言を用いた。

(6) 経済リテラシー 経済知識

中学生よりも高校生の方が、経済知識の習得は高いと考えられるが、いずれの問いの正答率も50%に満たず、必ずしも十分とは言えない。

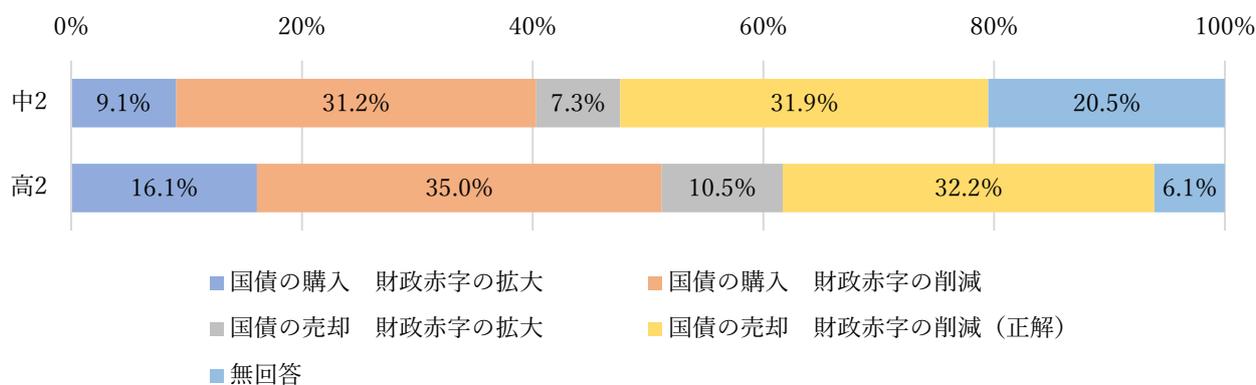
Q 需要の変化が価格に大きな影響を与えているのは、次の1～4のうちどれですか。

- 1 キャベツが豊作のとき価格が下がった
- 2 歳末セールでテレビの価格が下がった
- 3 母の日にカーネーションの価格が上がった (正解)
- 4 海が荒れて不漁のとき魚の価格が上がった



Q 経済が完全雇用の状況下で急激なインフレーションが進行中の時に、それをもっともよく抑える金融政策と財政政策の組み合わせは、次の1～4のどれですか。

- 1 国債の購入／財政赤字の拡大
- 2 国債の購入／財政赤字の削減
- 3 国債の売却／財政赤字の拡大
- 4 国債の売却／財政赤字の削減 (正解)

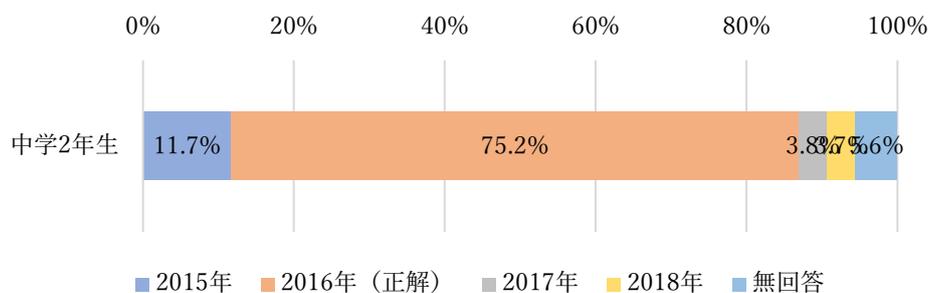


Q 右の年平均の為替相場の表を見ると、最も有利な条件で日本からアメリカに旅行に行くことができたのは、次の1～4のうちどの年ですか。（中学校のみ）

- 1 2015年
- 2 2016年（正解）
- 3 2017年
- 4 2018年

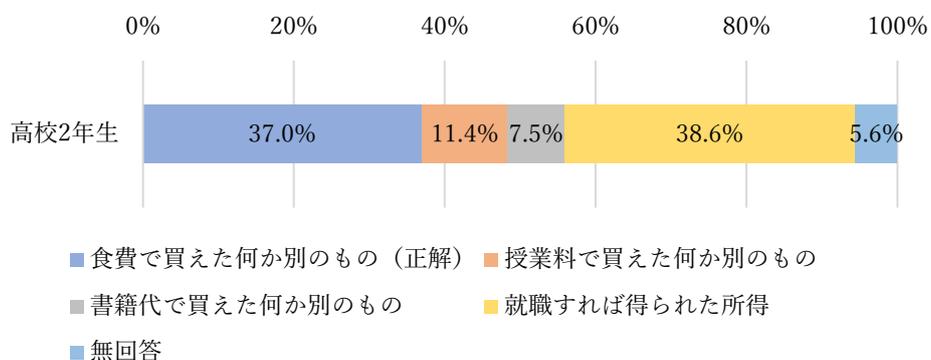
年	為替相場
2015	1ドル = 121円
2016	1ドル = 109円
2017	1ドル = 112円
2018	1ドル = 110円

（IMF資料より作成）



Q 高校卒業後に就職せず、大学に進学することの機会費用と考えられないのは、次の1～4のうちどれですか。（高校のみ）

- 1 食費で買えた何か別のもの（正解）
- 2 授業料で買えた何か別のもの
- 3 書籍代で買えた何か別のもの
- 4 就職すれば得られた所得



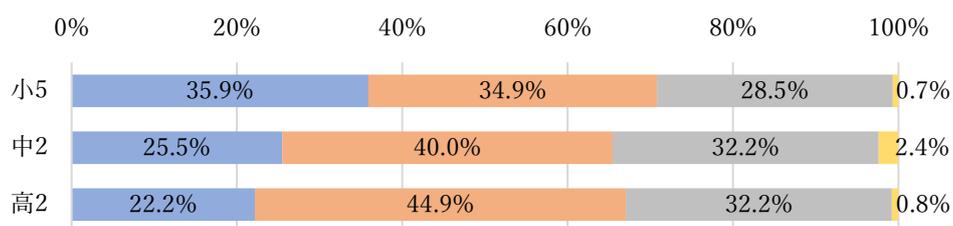
(6) 経済リテラシー 経済意見

小学生、中学生、高校生と校種が上がるにつれて、経済的な成功は社会が保障するものではなく個人の努力によって掴み取るものであり、勤勉さよりも運によるところが大きく、場合によっては誰かを犠牲にすることも仕方ないと考える傾向にある。

Q 経済についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

A「収入はもっと平等にすべきだ」（収入（働くことで得たお金）は、もっと平等にすべきだ）

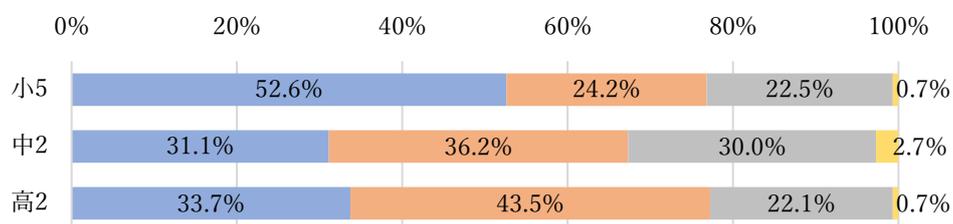
B「個々人の努力を刺激するようもっと収入の開きを大きくすべきだ」（たくさん働こうとする意欲を高めるために、収入の違いをもっと大きくすべきだ）



Q 経済についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

A「長い目で見ると、勤勉に（いっしょうけんめいに）働けば生活がよくなって成功するものだ」

B「勤勉に（いっしょうけんめいに）働いても成功するとは限らない、むしろ運やコネによる部分が多い」



Q 経済についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

A「他の人を犠牲にしなければ豊かにはなれない」（ほかの人を犠牲にしなければ、豊かにはなれない）

B「富は増えていくから、みんなが豊かになれる」（みんなの富が増えていくことで、みんなが豊かになれる）



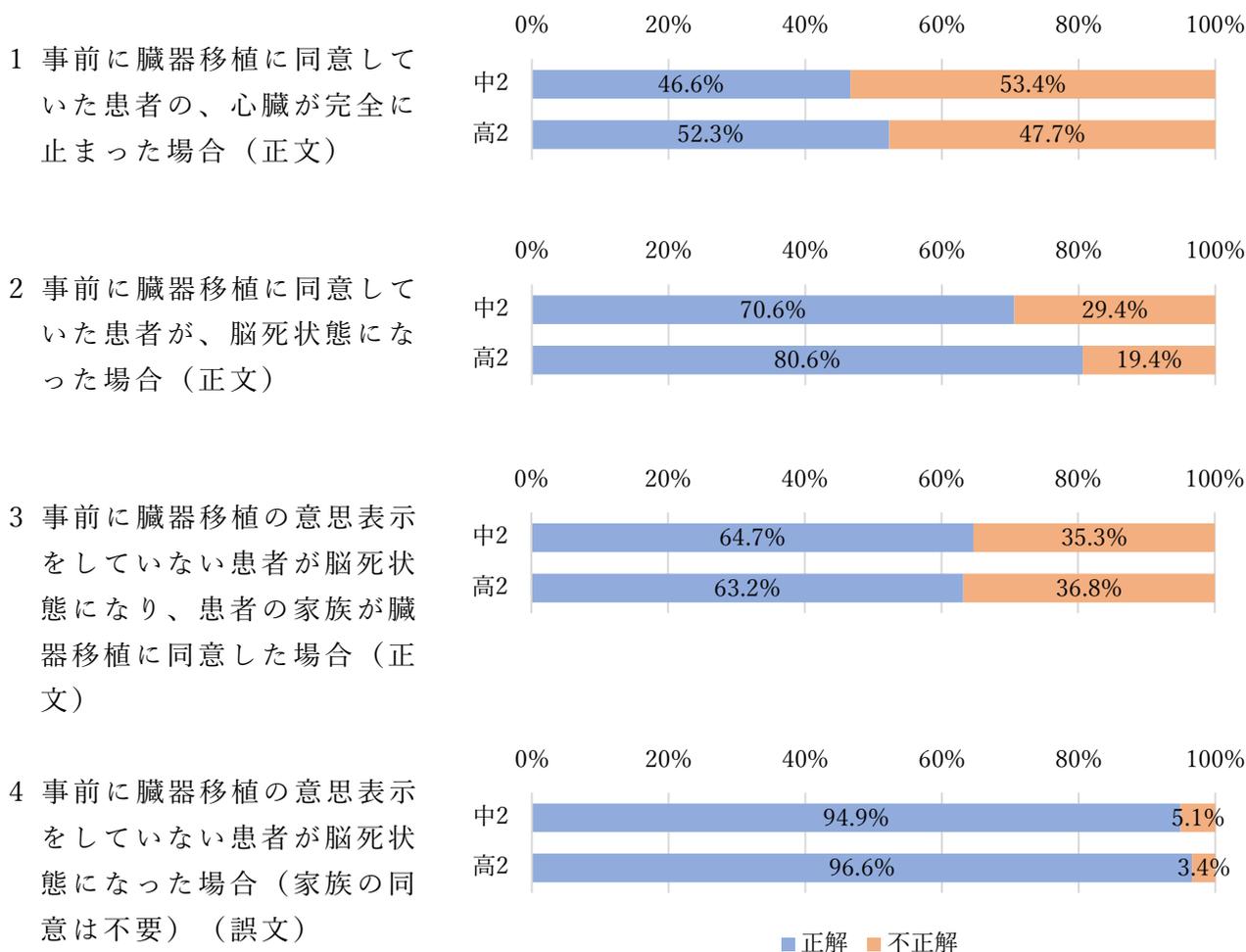
■ Aの意見 ■ Bの意見 ■ わからない ■ 無回答

※小学生には（ ）内の文言を用いた。

(7) 倫理リテラシー 倫理知識

倫理知識の習得は、臓器移植に関して言えば、中学生と高校生の違いはなく、十分であると考えられる。

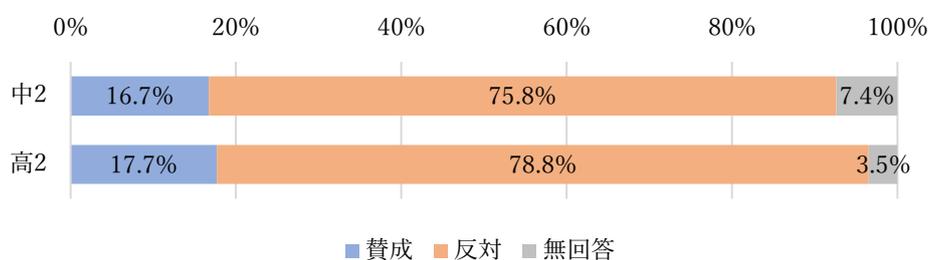
Q 次の文章のうち、臓器移植ができる場合をすべて選んで番号に○をつけてください。



(7) 倫理リテラシー 倫理意見①

小学生、中学生、高校生ともに、「どちらともいえない」「わからない」の回答が多く、倫理的問題に対する判断を回避する傾向がある。生命の問題に関しては、中学生よりも高校生の方が、幸福のためには他の命を犠牲にするのは止むを得ないと考える傾向にある。個と集団の問題に関しては、中学生よりも高校生の方が、集団を優先する傾向にある。環境問題に関しては、中学生よりも高校生の方が、経済成長のためには環境破壊も止むを得ないと考える傾向にある。

Q 「臓器提供者をくじ引きで決めることにします。くじ引きで当たった人の臓器を、その臓器を必要としている患者に移植し、命を救うのです。…中略…くじで当たる人は大統領かもしれないし、サラリーマンかもしれないし、医師かもしれないし、今にも自殺しようとしている人かもしれないし、犯罪者かもしれない。すべては平等です。」
あなたはこの提案に賛成しますか、反対しますか。

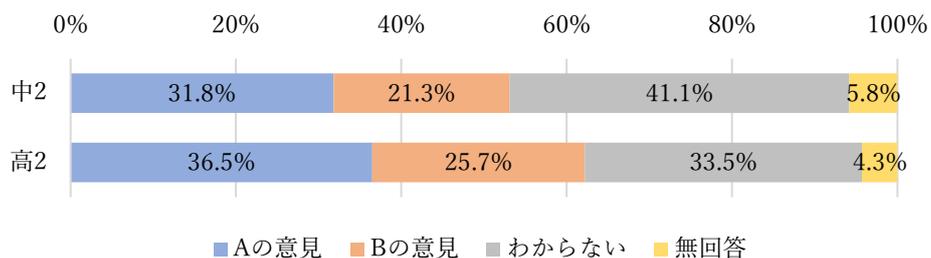


※中高生には、その理由も聞き、記述させた（未整理）。

Q 前の質問であなたが述べた意見は、AとBのどちらに近いですか。

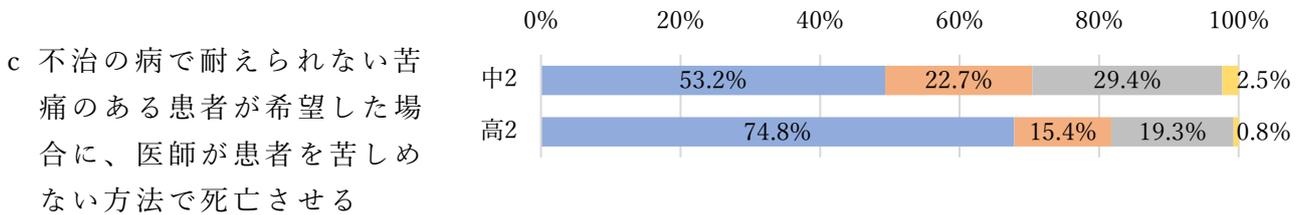
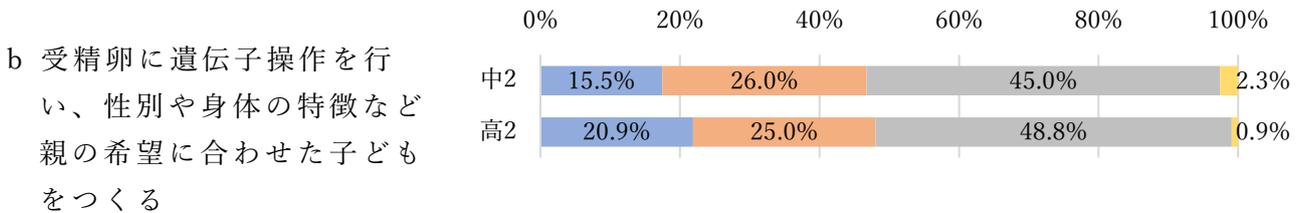
A 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する。

B 行為の動機となる公正などの義務を重視する。



(7) 倫理リテラシー 倫理意見② (生命に関すること)

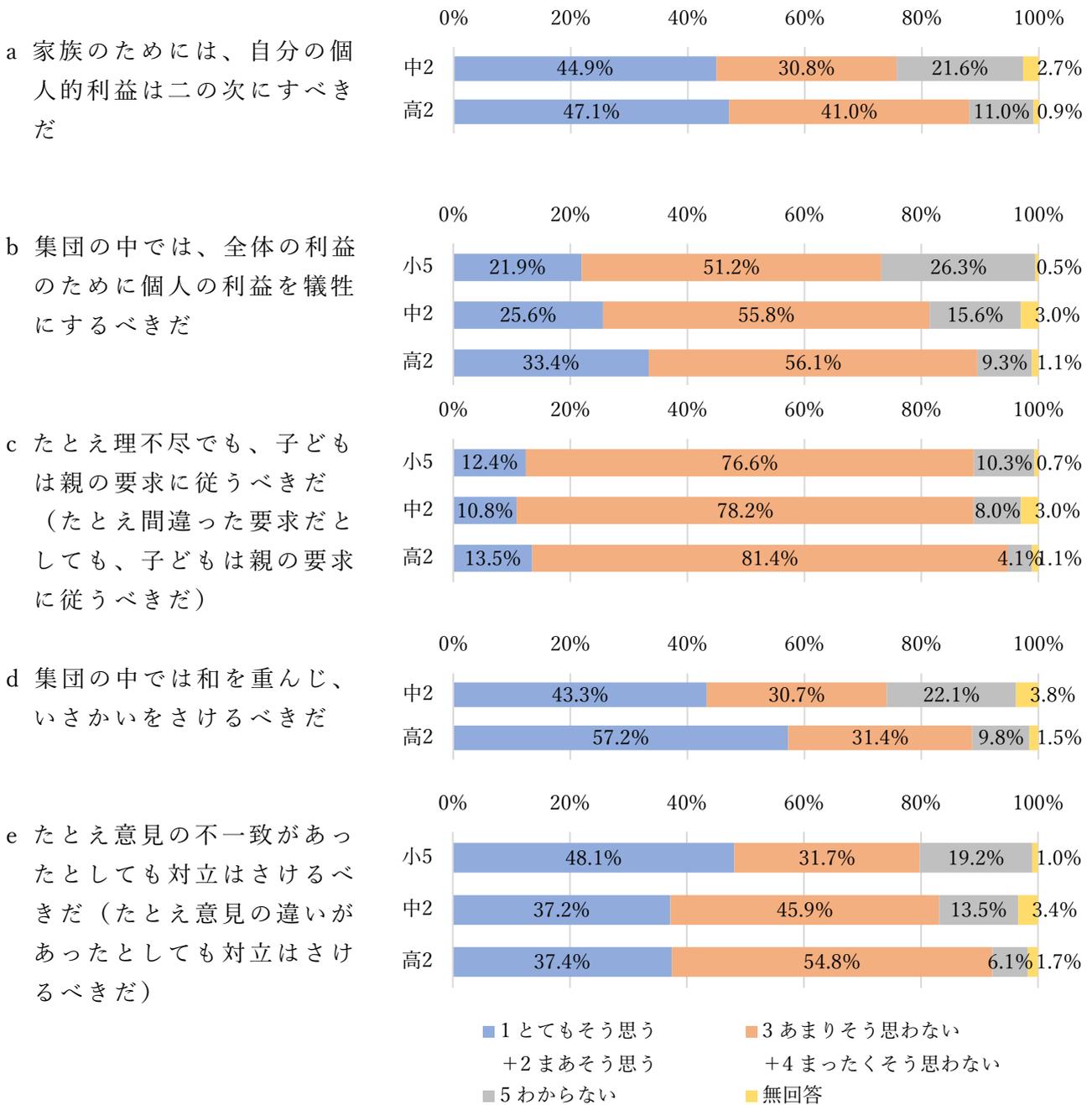
Q あなたは、次のa~dのことが世の中で行われることについてどのように考えますか。



- 認められる+どちらかといえば認められる
- どちらともいえない
- どちらかといえば認められない+認められない
- 無回答

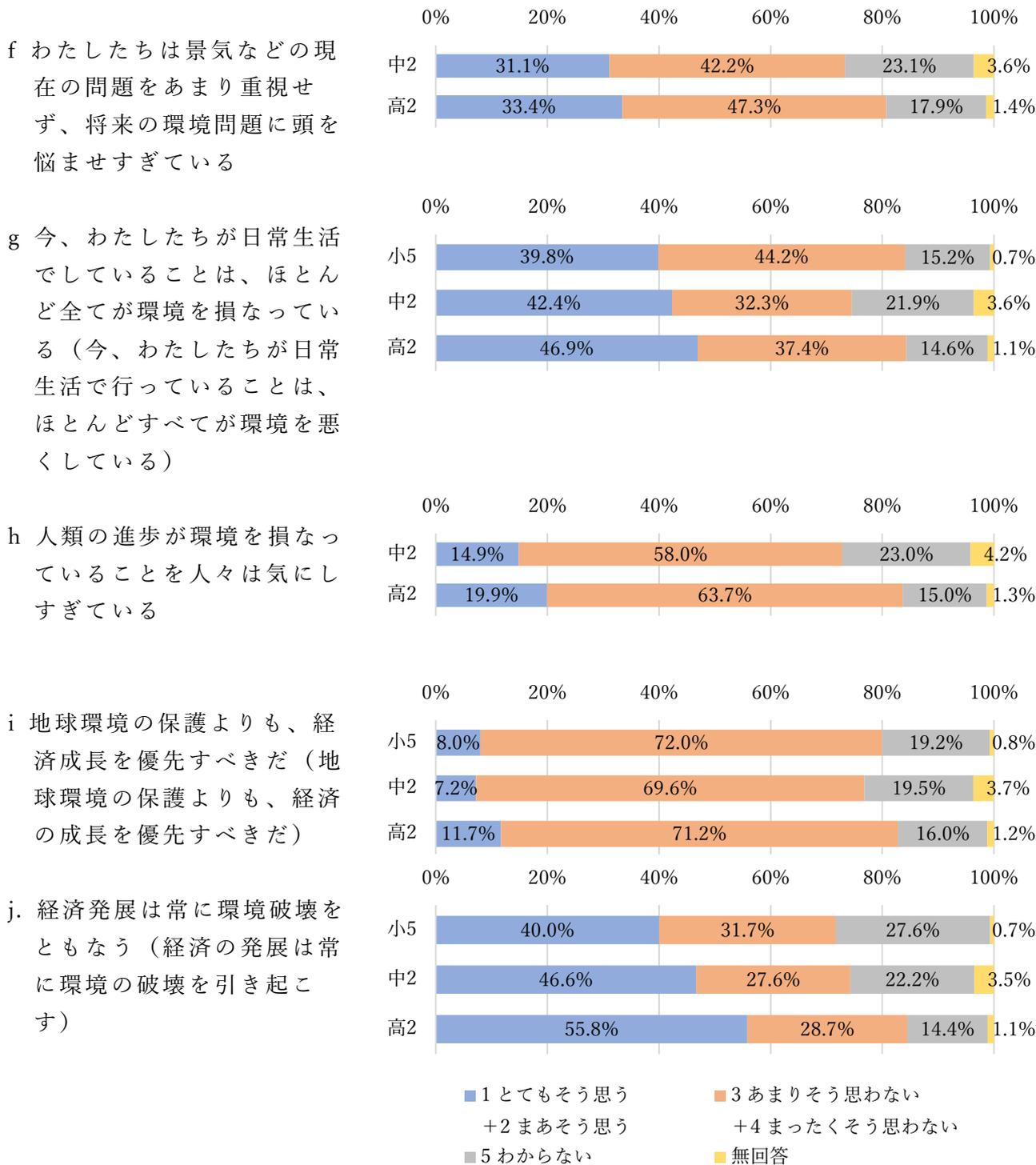
(7) 倫理リテラシー 倫理意見③ (個と集団に関すること)

Q 次のa~jの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に一つずつ○をつけてください。



※小学生には () 内の文言を用いた。

(7) 倫理リテラシー 倫理意見④ (環境と経済に関すること)

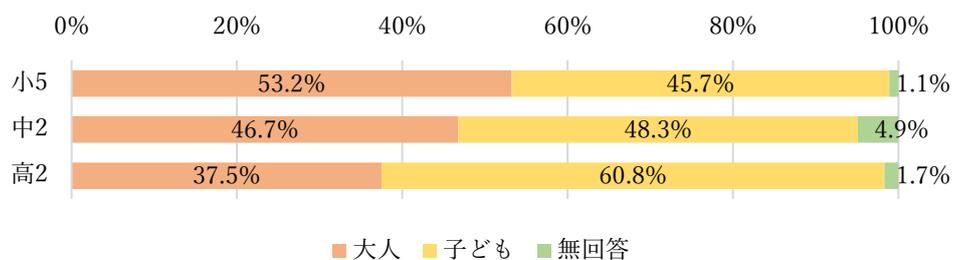


※小学生には () 内の文言を用いた。

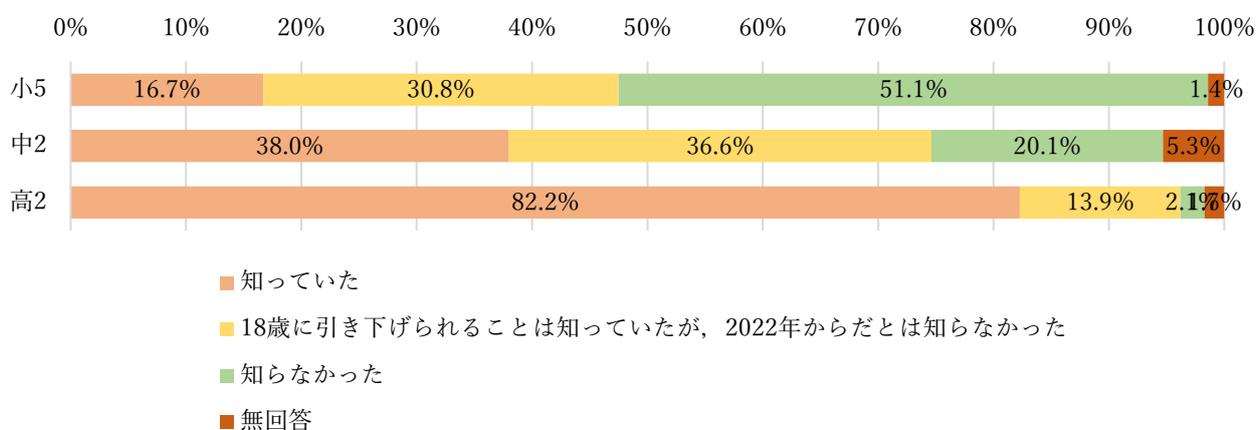
(8) 「18歳市民」についての意識 18歳は大人か

小学生、中学生、高校生と校種が上がるにつれて、18歳は大人ではなく、子どもである
と考える傾向にある。その根拠は、18歳では十分な判断力が身に付いておらず、経済的
に自立していないと考えるからである。また、18歳成人について、小学生と中学生の多
くはその事実を知らず、高校生（高校2年）にも知らない生徒が少なからずいた。

Q あなたは、18歳という年齢を「大人」だと思いますか、「子ども」だと思いますか。



Q 2022年4月に成人年齢が「18歳」に引き下げられます。そのことを知っていましたか。



Q では、なぜそう思いますか。その理由としてあてはまるものをいくつでも選んでください。

【「大人」と回答した児童・生徒】

	小 5 N=1208	中 2 N=954	高 2 N=839
1 18 歳は十分歳をとっているから	17.8%	21.2%	23.5%
2 十分な判断力があるから	72.4% ②	80.5% ①	71.2% ①
3 責任感があるから	55.3% ③	62.4% ③	55.3% ③
4 自分の身の回りのことが自分でできるから	72.7% ①	70.1% ②	60.9% ②
5 身体は「大人」と変わらないから	35.8%	40.8%	40.4%
6 一人暮らしをしているから	21.7%	13.8%	5.7%
7 経済的に自立しているから	42.1%	41.7%	16.9%
8 結婚しているから	6.1%	5.7%	3.3%
9 自分の子どもがいるから	4.7%	4.2%	2.3%
10 選挙権があるから	32.6%	49.9%	44.7%
11 その他	10.2%	10.1%	5.6%

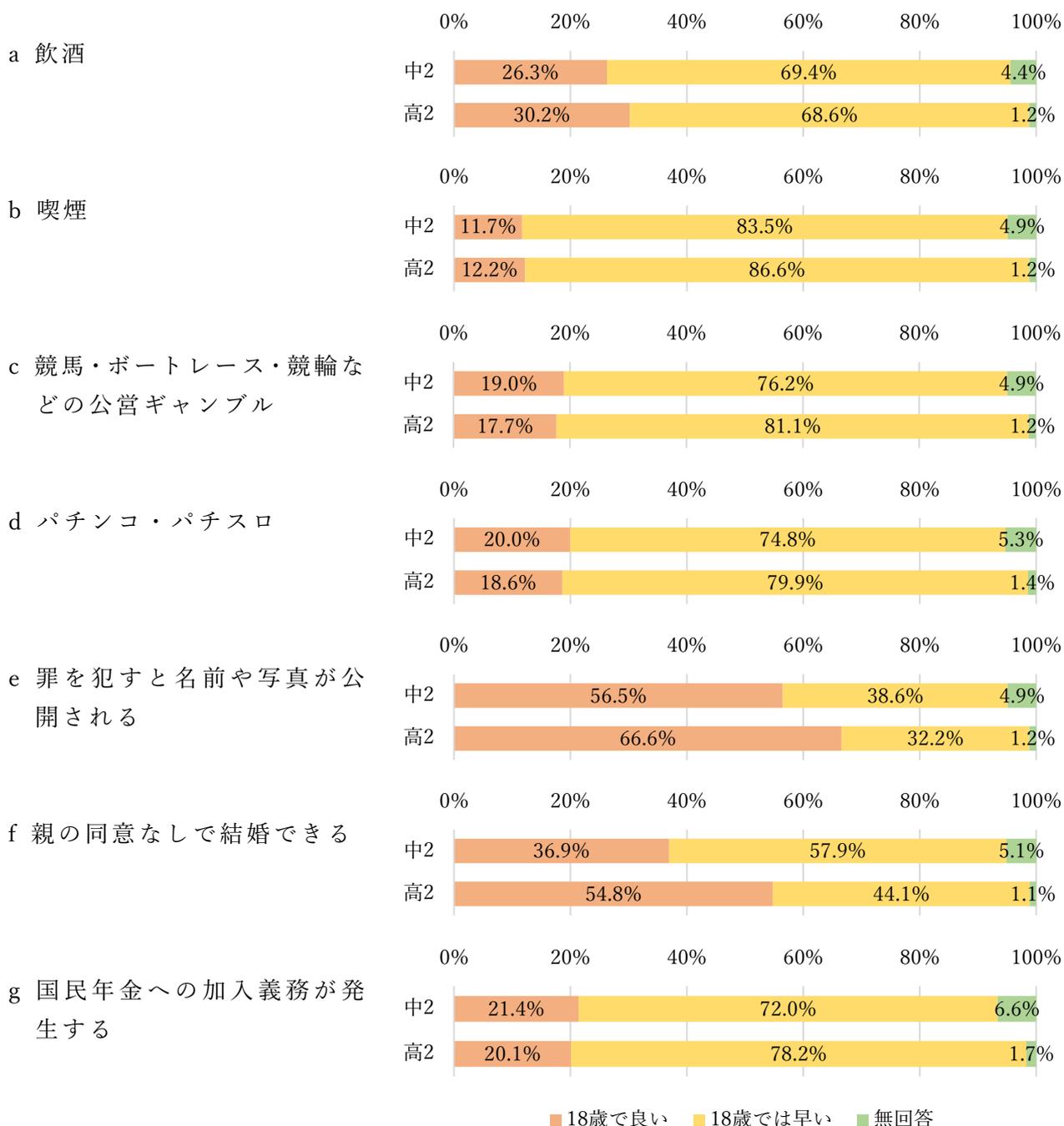
【「子ども」と回答した児童・生徒】

	小 5 N=1039	中 2 N=986	高 2 N=1361
1 18 歳はまだ若いから	58.5% ①	53.7% ②	42.5%
2 十分な判断力があるとは言えないから	50.8%	63.1% ①	71.5% ①
3 責任感がないと思うから	36.8%	48.1%	58.6% ③
4 自分の身の回りのことでも、自分でできないことがあるから	52.1% ③	48.8%	54.2%
5 「大人」と言えるほど身体が成長していないから	20.9%	9.4%	6.8%
6 一人暮らしをしていないから	11.9%	5.4%	6.5%
7 経済的に自立していないから	37.3%	51.8% ③	71.3% ②
8 結婚していないから	15.8%	7.9%	5.7%
9 自分の子どもがいる人が少ないから	12.5%	7.9%	6.8%
10 選挙権がないから	54.9% ②	11.8%	4.9%
11 法律上、成人ではないから	16.6%	44.6%	30.9%
12 その他		11.6%	7.0%

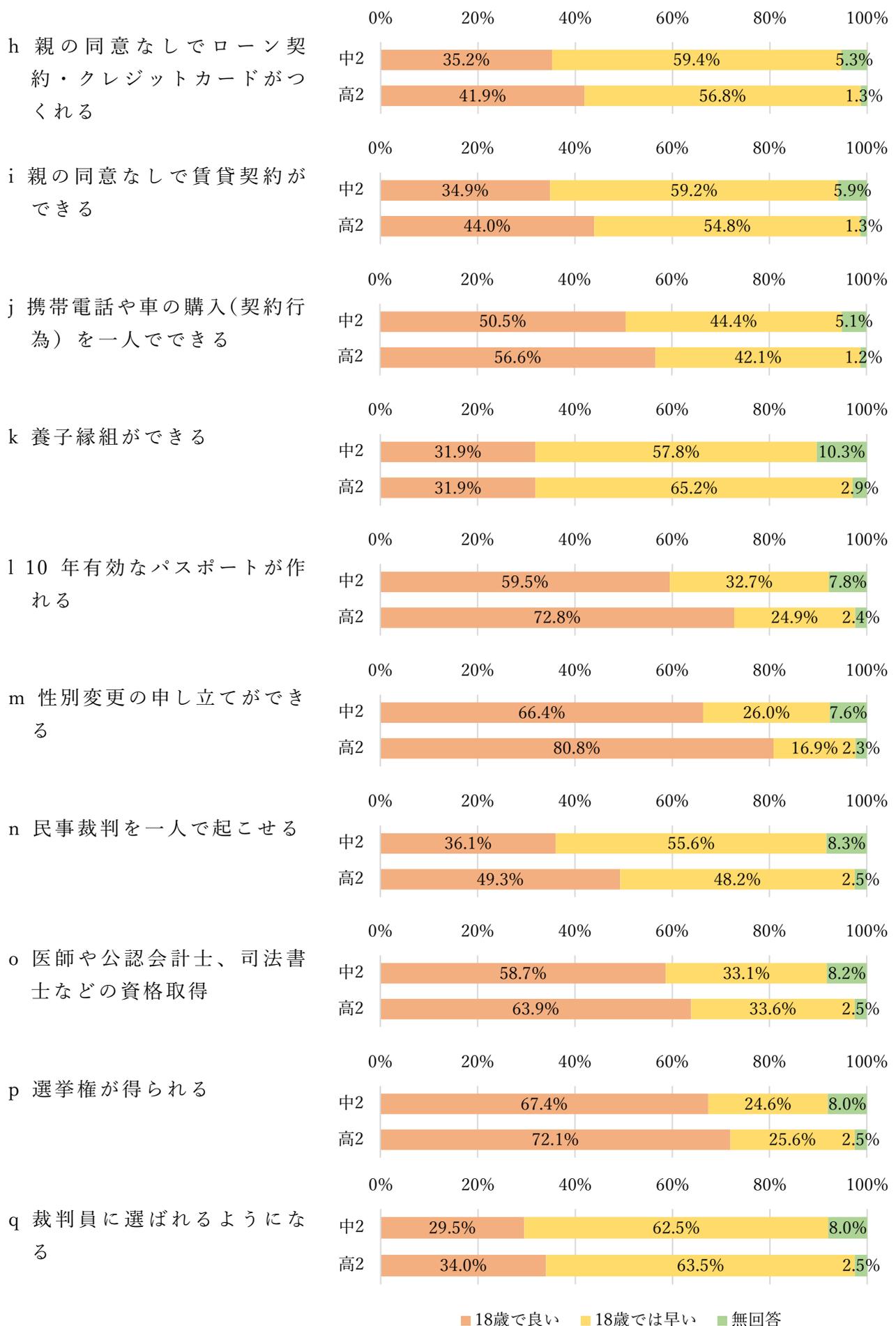
(8) 「18歳市民」についての意識 18歳で適用すること

高校生が中学生と比べて、18歳での適用を強く望んでいるのは、犯罪者の名前や写真の公表、親の同意なしの結婚、10年パスポートの作成、性別変更、民事訴訟である。特に親の同意なしの結婚と民事訴訟については、中学生が「18歳では早い」と考えるのに対して、高校生は「18歳で良い」と考える傾向にある。

Q 次の a~g の内容について、「18歳」で適用することについてどのように考えますか。



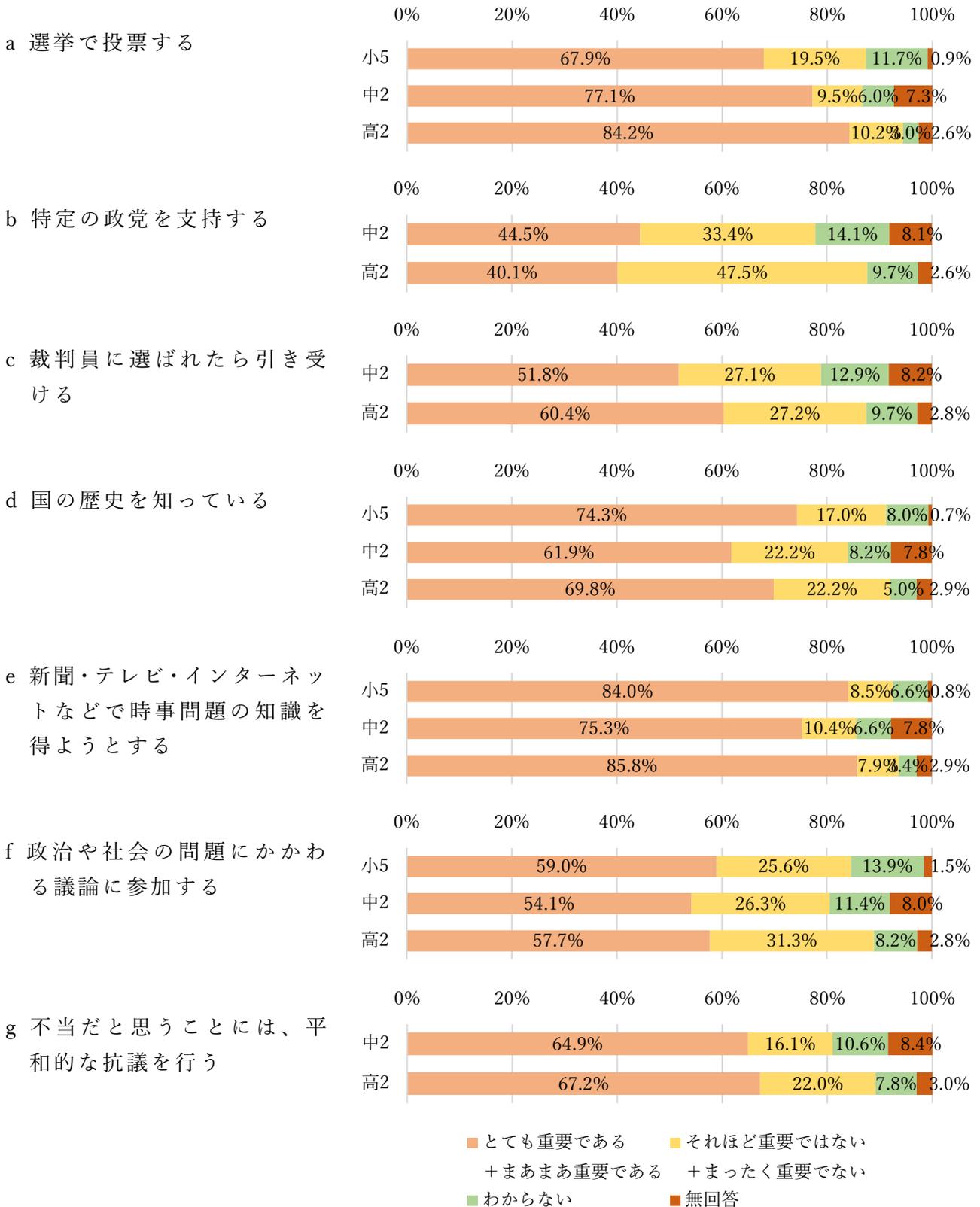
※ 「18歳で良い」は「18歳よりもっと早くても良い」と「18歳で良い」の合計%、
 「18歳ではまだ早い」は「20歳で良い(18歳ではまだ早い)」と「20歳でも早い」合計%



(8) 「18歳市民」についての意識 よい大人の市民

よい大人の市民の条件として、小学生は抽象的な社会参加活動に注目する傾向にあり、中学生と高校生はより具体的な政治参加活動に注目する傾向がある。

Q よい大人の市民になるために、次の a～m のことはどのくらい重要だと思いますか。



h ごみを減らし、再利用やリサイクルを行う



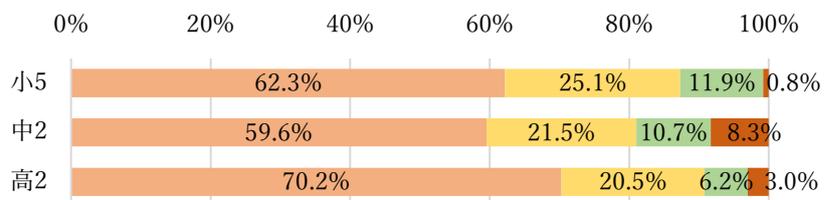
i 環境に配慮された食品・商品を選んで購入する（環境に配慮した食品・商品を選んで購入する）



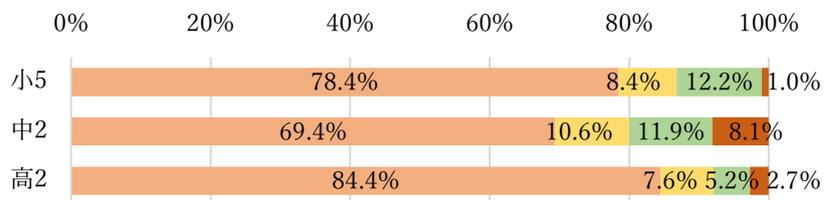
j 地元産品を購入して地産地消を実践する（地元でとれた野菜を買って、地産地消（地元でとれたものを地域で消費する）を実践する）



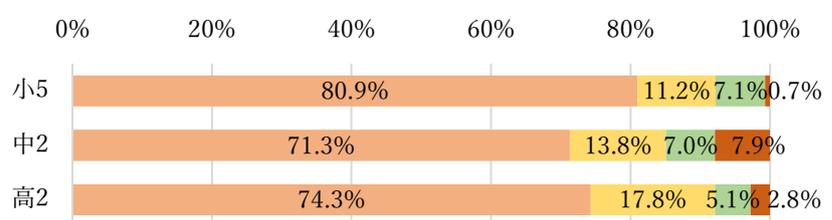
k 購入した商品やサービスに問題があれば、事業者に申立てを行う（購入した商品に問題があれば、購入したお店や生産した会社に意見を言う）



l ライフステージや経済状況の変化等、将来を見通した生活設計を考える（自分の今後の人生や経済の状況の変化などに注意して、将来の生活設計を考える）



m 地域社会のためにボランティア活動に参加する



■ とても重要である ■それほど重要ではない
■ まあまあ重要である ■ まったく重要でない
■ わからない ■ 無回答

※小学生には（）内の文言を用いた。ふりがなは省略した。

3 基礎集計結果

基本情報・属性等

協力校数

	小学5年生	中学2年生	高校2年生	合計
公立	26	15	7	48
国立	9	4	1	14
私立	0	2	4	6
合計	35	21	12	68

回収数/対象者数

	小学5年生	中学2年生	高校2年生	合計
公立	1563/1661	1346/1486	1402/1568	4311/4715
国立	709/727	391/418	180/196	1280/1341
私立	0	304/325	656/708	960/1033
合計	2272/2388	2041/2229	2238/2472	6551/7089
回収率	95.1%	91.6%	90.5%	92.4%

F-1 あなたの出席番号を書いてください。(省略)

F-2 あなたが通っている学校は、次のうちどれですか。(省略)

F-3 あなたは今、何年生ですか。(省略)

F-4 科目履修状況(高校2年生のみ)

		1年生で履修済み	2年生で履修中	履修していない
現代社会	N	729	562	947
	%	32.6%	25.1%	42.3%
倫理	N	105	187	1946
	%	4.7%	8.4%	87.0%
政治・経済	N	0	332	1906
	%	0.0%	14.8%	85.2%

A-1 あなたは西暦何年、何月の生まれですか。(省略)

A-2 あなたの性別をお答えください。

		女性	男性	回答しない	無回答	合計
小学5年生	N	1078	1103	72	19	2272
	%	47.4%	48.5%	3.2%	0.8%	100.0%
中学2年生	N	1024	958	49	10	2041
	%	50.2%	46.9%	2.4%	0.5%	100.0%
高校2年生	N	1109	958	47	7	2238
	%	49.6%	42.8%	2.1%	0.3%	100.0%

A-3 今、将来つきたい職業がありますか。

		ある	ない	無回答	合計
小学5年生	N	1452	790	30	2272
	%	63.9%	34.8%	1.3%	100.0%
中学2年生	N	1035	983	23	2041
	%	50.7%	48.2%	1.1%	100.0%
高校2年生	N	1039	1168	31	2238
	%	46.4%	52.2%	1.4%	100.0%

A-4 あなたはふだん、次のa～gのことをどのくらいしますか。

			ほぼ毎日する	週1回以上する	月に1回以上する	月1回より少ない、まったくしない	無回答
a 政治や社会の問題について、家族と話をする。	小学5年生	N	394	582	526	759	11
		%	17.3%	25.6%	23.2%	33.4%	0.5%
	中学2年生	N	296	685	513	541	6
		%	14.5%	33.6%	25.1%	26.5%	0.3%
	高校2年生	N	267	774	594	596	7
		%	11.9%	34.6%	26.5%	26.6%	0.3%
b 国内外のニュースを知るためにテレビをみる。	小学5年生	N	1059	553	282	363	15
		%	46.6%	24.3%	12.4%	16.0%	0.7%
	中学2年生	N	828	562	310	335	6
		%	40.6%	27.5%	15.2%	16.4%	0.3%
	高校2年生	N	739	698	346	448	7
		%	33.0%	31.2%	15.5%	20.0%	0.3%
c 国内外のニュースを知るために新聞を読む。	小学5年生	N	188	226	326	1504	28
		%	8.3%	9.9%	14.3%	66.2%	1.2%
	中学2年生	N	117	210	273	1431	10
		%	5.7%	10.3%	13.4%	70.1%	0.5%
	高校2年生	N	72	171	275	1710	10
		%	3.2%	7.6%	12.3%	76.4%	0.4%
d 政治や社会の問題について、友人と話をする。	小学5年生	N	88	263	519	1354	48
		%	3.9%	11.6%	22.8%	59.6%	2.1%
	中学2年生	N	71	325	606	1017	22
		%	3.5%	15.9%	29.7%	49.8%	1.1%
	高校2年生	N	63	361	798	992	24
		%	2.8%	16.1%	35.7%	44.3%	1.1%
e 国内外のニュースを知るためにインターネットを利用する。	小学5年生	N	279	345	466	1167	15
		%	12.3%	15.2%	20.5%	51.4%	0.7%
	中学2年生	N	410	465	473	673	20
		%	20.1%	22.8%	23.2%	33.0%	1.0%
	高校2年生	N	564	694	468	495	17
		%	25.2%	31.0%	20.9%	22.1%	0.8%
f 政治や社会の問題について、インターネットやSNS上でコメントを投稿する。	小学5年生	N	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	38	49	90	1852	12
		%	1.9%	2.4%	4.4%	90.7%	0.6%
	高校2年生	N	26	53	124	2026	9
		%	1.2%	2.4%	5.5%	90.5%	0.4%
g 政治や社会の問題について、他の人の投稿に「いいね」やシェアをする。	小学5年生	N	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	85	118	160	1670	8
		%	4.2%	5.8%	7.8%	81.8%	0.4%
	高校2年生	N	86	172	282	1693	5
		%	3.8%	7.7%	12.6%	75.6%	0.2%

学校内外での経験

B-1 これまでに、次のa~jのことに意欲的に取り組んだことがありましたか。

			取り組んだ	取り組まなかった	わからない	無回答
a 学級のルールを決める話し合い	小学5年生	N	1601	247	411	13
		%	70.5%	10.9%	18.1%	0.6%
	中学2年生	N	1397	273	362	9
		%	68.4%	13.4%	17.7%	0.4%
	高校2年生	N	1005	561	665	7
		%	44.9%	25.1%	29.7%	0.3%
b 総合的な学習（高校は探究）の時間などにおける、個人のテーマを設定した探究的学習	中学2年生	N	1442	238	348	13
		%	70.7%	11.7%	17.1%	0.6%
	高校2年生	N	1331	420	477	10
		%	59.5%	18.8%	21.3%	0.4%
c 体育祭や文化祭など学校行事の企画や運営	小学5年生	N	1258	465	532	17
		%	55.4%	20.5%	23.4%	0.7%
	中学2年生	N	1212	504	315	10
		%	59.4%	24.7%	15.4%	0.5%
	高校2年生	N	1353	598	281	6
		%	60.5%	26.7%	12.6%	0.3%
d 生徒会活動（小は児童会活動）	小学5年生	N	1320	400	529	23
		%	58.1%	17.6%	23.3%	1.0%
	中学2年生	N	622	1062	339	18
		%	30.5%	52.0%	16.6%	0.9%
	高校2年生	N	412	1428	393	5
		%	18.4%	63.8%	17.6%	0.2%
e 部活動	中学2年生	N	1741	203	83	14
		%	85.3%	9.9%	4.1%	0.7%
	高校2年生	N	1840	272	120	6
		%	82.2%	12.2%	5.4%	0.3%
f 職業体験やインターンシップ	中学2年生	N	554	712	749	26
		%	27.1%	34.9%	36.7%	1.3%
	高校2年生	N	1032	778	414	14
		%	46.1%	34.8%	18.5%	0.6%
g 学級や学年、学校などの代表者として、弁論大会などで発表	中学2年生	N	163	1310	547	21
		%	8.0%	64.2%	26.8%	1.0%
	高校2年生	N	210	1633	383	12
		%	9.4%	73.0%	17.1%	0.5%
h 校内での環境を守るための活動（清掃活動を含む）	中学2年生	N	1420	386	223	12
		%	69.6%	18.9%	10.9%	0.6%
	高校2年生	N	1206	739	289	4
		%	53.9%	33.0%	12.9%	0.2%
i 地域社会でのボランティア活動	小学5年生	N	349	991	892	40
		%	15.4%	43.6%	39.3%	1.8%
	中学2年生	N	407	1099	519	16
		%	19.9%	53.8%	25.4%	0.8%
	高校2年生	N	499	1385	344	10
		%	22.3%	61.9%	15.4%	0.4%
j 海外での体験	中学2年生	N	123	1491	413	14
		%	6.0%	73.1%	20.2%	0.7%
	高校2年生	N	264	1691	273	10
		%	11.8%	75.6%	12.2%	0.4%

教室風土

B-2 日常の授業で政治や社会の問題について話し合いをする時、次のa～gのことはどのくらい思いますか。

			とてもそう思 う	まあそう思 う	あまりそう思 わない	まったくそ う思わない	無回答
a 先生は私たちに、自分の考えをも つように求めている。	小学5年生	N	1136	945	148	30	13
		%	50.0%	41.6%	6.5%	1.3%	0.6%
	中学2年生	N	948	937	126	21	9
		%	46.4%	45.9%	6.2%	1.0%	0.4%
	高校2年生	N	647	1269	258	52	12
		%	28.9%	56.7%	11.5%	2.3%	0.5%
b 先生は私たちに、自分の意見を発 表するように求めている。	小学5年生	N	1236	791	201	32	12
		%	54.4%	34.8%	8.8%	1.4%	0.5%
	中学2年生	N	1037	845	128	18	13
		%	50.8%	41.4%	6.3%	0.9%	0.6%
	高校2年生	N	597	1149	408	72	12
		%	26.7%	51.3%	18.2%	3.2%	0.5%
c 話し合いの中で、社会にみられる 問題について話す人がクラスにい る。	小学5年生	N	508	763	758	227	16
		%	22.4%	33.6%	33.4%	10.0%	0.7%
	中学2年生	N	409	717	739	161	15
		%	20.0%	35.1%	36.2%	7.9%	0.7%
	高校2年生	N	219	631	1077	293	18
		%	9.8%	28.2%	48.1%	13.1%	0.8%
d 人と意見がちがっていても、自分 の意見を言う人がクラスにいる。	小学5年生	N	1464	631	125	34	18
		%	64.4%	27.8%	5.5%	1.5%	0.8%
	中学2年生	N	1169	684	154	23	11
		%	57.3%	33.5%	7.5%	1.1%	0.5%
	高校2年生	N	609	1124	426	67	12
		%	27.2%	50.2%	19.0%	3.0%	0.5%
e 先生は私たちに、自分と異なった 意見をもつ人の話をきくように求 めている。	小学5年生	N	1092	800	294	61	25
		%	48.1%	35.2%	12.9%	2.7%	1.1%
	中学2年生	N	960	839	198	29	15
		%	47.0%	41.1%	9.7%	1.4%	0.7%
	高校2年生	N	564	1177	407	75	15
		%	25.2%	52.6%	18.2%	3.4%	0.7%
f 先生は私たちに、話し合いのとき にはいろいろな意見を出すように 求めている。	小学5年生	N	1396	679	149	25	23
		%	61.4%	29.9%	6.6%	1.1%	1.0%
	中学2年生	N	1284	649	85	12	11
		%	62.9%	31.8%	4.2%	0.6%	0.5%
	高校2年生	N	789	1159	223	52	15
		%	35.3%	51.8%	10.0%	2.3%	0.7%
g 先生と異なった自分の意見を、た めらいなく発言することができる。	小学5年生	N	492	711	747	290	32
		%	21.7%	31.3%	32.9%	12.8%	1.4%
	中学2年生	N	415	628	701	281	16
		%	20.3%	30.8%	34.3%	13.8%	0.8%
	高校2年生	N	294	751	900	280	13
		%	13.1%	33.6%	40.2%	12.5%	0.6%

社会科観

B-3 社会科（高校は公民科）の授業に関する次のa～dの意見について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか。

			とてもそう思 う	まあそう思 う	あまりそう思 わない	まったくそ う思わない	無回答
a 社会科（公民科）の授業は、受験に役立つ。	小学5年生	N	1198	831	180	54	9
		%	52.7%	36.6%	7.9%	2.4%	0.4%
	中学2年生	N	1220	685	112	21	3
		%	59.8%	33.6%	5.5%	1.0%	0.1%
	高校2年生	N	442	1164	462	134	36
		%	19.7%	52.0%	20.6%	6.0%	1.6%
b 社会科（公民科）の授業は、好きな仕事につくことに役立つ。	小学5年生	N	854	851	441	118	8
		%	37.6%	37.5%	19.4%	5.2%	0.4%
	中学2年生	N	527	779	600	131	4
		%	25.8%	38.2%	29.4%	6.4%	0.2%
	高校2年生	N	303	923	777	198	37
		%	13.5%	41.2%	34.7%	8.8%	1.7%
c 社会科（公民科）の授業は、普段の生活の中で役立つ。	小学5年生	N	1115	792	291	63	11
		%	49.1%	34.9%	12.8%	2.8%	0.5%
	中学2年生	N	624	758	522	134	3
		%	30.6%	37.1%	25.6%	6.6%	0.1%
	高校2年生	N	587	1132	381	101	37
		%	26.2%	50.6%	17.0%	4.5%	1.7%
d 社会科（公民科）の授業は、自分の生き方を考えるのに役立つ。	小学5年生	N	912	830	403	115	12
		%	40.1%	36.5%	17.7%	5.1%	0.5%
	中学2年生	N	604	764	503	166	4
		%	29.6%	37.4%	24.6%	8.1%	0.2%
	高校2年生	N	488	1078	501	133	38
		%	21.8%	48.2%	22.4%	5.9%	1.7%

政治知識

C-1(1) 1つの法律案について衆議院と参議院で議決の結果が異なる場合に、衆議院でもう1度議決をして法律案を可決させる場合の条件は、次の1～4のうちどれですか。

		出席議員の過半数	総議員の過半数	出席議員の3分の2以上 (正解)	総議員の3分の2以上	無回答
中学2年生	N	437	511	562	302	229
	%	21.4%	25.0%	27.5%	14.8%	11.2%
高校2年生	N	262	371	966	583	56
	%	11.7%	16.6%	43.2%	26.1%	2.5%

C-1(2) 右の写真の人物[菅義偉]が内閣総理大臣になる前に任命されたことがない役職は、次の1～4のうちどれですか。

		内閣官房長官	衆議院議長 (正解)	総務大臣	自民党総裁	無回答
中学2年生	N	123	857	402	483	176
	%	6.0%	42.0%	19.7%	23.7%	8.6%
高校2年生	N	118	1123	430	532	35
	%	5.3%	50.2%	19.2%	23.8%	1.6%

政治意見 C-1(3) 憲法改正について、あなたの意見は、次のA、Bのどちらの意見に近いですか。

A：今の憲法は時代に合わなくなっているので、早い時期に改憲した方がよい。

B：今の憲法は大筋として立派な憲法であるから、現在は改憲しない方がよい。

		Aの意見 (改憲派)	Bの意見 (護憲派)	わからない	無回答
中学2年生	N	575	505	919	42
	%	28.2%	24.7%	45.0%	2.1%
高校2年生	N	772	654	799	13
	%	34.5%	29.2%	35.7%	0.6%

政治意見

(4) 次のa～eの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

			とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそ う思わない	わからない	無回答
a 社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関わりたい	小学5年生	N	433	753	654	166	256	10
		%	19.1%	33.1%	28.8%	7.3%	11.3%	0.4%
	中学2年生	N	257	696	739	178	166	5
		%	12.6%	34.1%	36.2%	8.7%	8.1%	0.2%
	高校2年生	N	214	868	792	214	146	4
		%	9.6%	38.8%	35.4%	9.6%	6.5%	0.2%
b 将来の国や地域の担い手として積極的に政策決定に参加したい	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	189	459	898	295	193	7
		%	9.3%	22.5%	44.0%	14.5%	9.5%	0.3%
	高校2年生	N	143	553	1023	358	156	5
		%	6.4%	24.7%	45.7%	16.0%	7.0%	0.2%
c 私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	178	404	815	407	228	9
		%	8.7%	19.8%	39.9%	19.9%	11.2%	0.4%
	高校2年生	N	123	456	987	463	202	7
		%	5.5%	20.4%	44.1%	20.7%	9.0%	0.3%
d 社会のことは複雑で、私は関わりたくない	小学5年生	N	171	466	841	510	273	11
		%	7.5%	20.5%	37.0%	22.4%	12.0%	0.5%
	中学2年生	N	189	570	784	265	217	16
		%	9.3%	27.9%	38.4%	13.0%	10.6%	0.8%
	高校2年生	N	185	722	931	230	164	6
		%	8.3%	32.3%	41.6%	10.3%	7.3%	0.3%
e 私個人の力では政府の決定に影響を与えられない (私ひとりの力では社会の決定に影響を与えることはできない)	小学5年生	N	794	692	358	163	253	12
		%	34.9%	30.5%	15.8%	7.2%	11.1%	0.5%
	中学2年生	N	676	713	318	98	225	11
		%	33.1%	34.9%	15.6%	4.8%	11.0%	0.5%
	高校2年生	N	650	951	374	94	163	6
		%	29.0%	42.5%	16.7%	4.2%	7.3%	0.3%

小学生には () 内の文言を用いた。ふりがなは省略した。

法知識 (1) 次の文章のうち、正しいものをすべて選んで番号に○をつけてください。

	正答			正解	不正解
C-2(1)1 日本国憲法は、国民の権利や自由を守るために、権力を制限する仕組みを定めている。	○	中学2年生	N	1473	568
			%	72.2%	27.8%
		高校2年生	N	1827	411
			%	81.6%	18.4%
C-2(1)2 政治が誤った意見に基づいて行われることがないように、政治にかかわる意見を言う自由は、他の表現と比べて厳しく制限されている。	×	中学2年生	N	1484	557
			%	72.7%	27.3%
		高校2年生	N	1737	501
			%	77.6%	22.4%
C-2(1)3 日本国憲法では拷問は禁止されているが、拷問によって得た自白が真実であるなら、その自白を有罪の証拠としてもかまわない。	×	中学2年生	N	1568	473
			%	76.8%	23.2%
		高校2年生	N	1893	345
			%	84.6%	15.4%
C-2(1)4 ある人の行為を処罰するには、その行為を罰することを、事前に法律で定めておく必要がある。	○	中学2年生	N	1474	567
			%	72.2%	27.8%
		高校2年生	N	1760	478
			%	78.6%	21.4%

※ただし、1と4の不正解、2と3の正解は、無回答も含む。

法意見 (2) 法についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

				Aの意見	Bの意見	わからない	無回答
C-2(2)1	A「法律というのは守るためにあるのだから、違反した場合は必ず制裁を加えるということことでなければ意味がない」	中学2年生	N	502	1101	393	45
			%	24.6%	53.9%	19.3%	2.2%
	B「法律というのは状況によって制裁を加えるかどうかを判断すべきもので、文字通りに適用するのはよくない」	高校2年生	N	662	1223	324	29
			%	29.6%	54.6%	14.5%	1.3%
C-2(2)2	A「死刑はどんなときにもおこなうべきでない」	中学2年生	N	294	1399	307	41
			%	14.4%	68.5%	15.0%	2.0%
	B「場合によっては死刑もやむをえない」	高校2年生	N	272	1642	300	24
			%	12.2%	73.4%	13.4%	1.1%

法意見 (3) 次のa～dの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

			とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそ う思わない	わからない (小のみ)	無回答
C-2(3)a それぞれが自分の権利や自由を主張すると、みんなの調和を乱し、全体の利益や秩序が損なわれることになる。※	小学5年生	N	539	662	352	127	574	18
		%	23.7%	29.1%	15.5%	5.6%	25.3%	0.8%
	中学2年生	N	385	926	550	129	—	51
		%	18.9%	45.4%	26.9%	6.3%	—	2.5%
	高校2年生	N	442	1110	592	87	—	7
		%	19.7%	49.6%	26.5%	3.9%	—	0.3%
C-2(3)b 女性の社会参加を実現するために、就職の際に女性を優先的に採用するべきである。	小学5年生	N	251	542	718	272	477	12
		%	11.0%	23.9%	31.6%	12.0%	21.0%	0.5%
	中学2年生	N	167	515	1004	328	—	27
		%	8.2%	25.2%	49.2%	16.1%	—	1.3%
	高校2年生	N	147	549	1126	411	—	5
		%	6.6%	24.5%	50.3%	18.4%	—	0.2%
C-2(3)c 法律に違反しなければ、多少悪いことをしてもかまわない。	小学5年生	N	31	66	393	1649	122	11
		%	1.4%	2.9%	17.3%	72.6%	5.4%	0.5%
	中学2年生	N	64	240	708	1003	—	26
		%	3.1%	11.8%	34.7%	49.1%	—	1.3%
	高校2年生	N	94	477	1010	652	—	5
		%	4.2%	21.3%	45.1%	29.1%	—	0.2%
C-2(3)d 他人に迷惑をかけなければ、赤信号を渡ってもかまわない。	小学5年生	N	27	44	204	1923	64	10
		%	1.2%	1.9%	9.0%	84.6%	2.8%	0.4%
	中学2年生	N	63	203	502	1253	—	20
		%	3.1%	9.9%	24.6%	61.4%	—	1.0%
	高校2年生	N	138	502	788	806	—	4
		%	6.2%	22.4%	35.2%	36.0%	—	0.2%

※小学生には「一人ひとりが自分の権利や自由を主張すると、調和が乱れ、全体の利益や秩序が損なわれることになる。」との文言を用いた。また全ての項目のふりがなは省略した。

経済知識

C-3(1) 需要の変化が価格に大きな影響を与えているのは、次の1~4のうちどれですか。

		キャベツが豊作のとき 価格が下がった	歳末セールでテレビの 価格が下がった	母の日にカーネーションの 価格が上がった (正解)	海が荒れて不漁のとき 魚の価格が上がった	無回答
中学2年生	N	238	107	481	935	280
	%	11.7%	5.2%	23.6%	45.8%	13.7%
高校2年生	N	296	99	1058	647	138
	%	13.2%	4.4%	47.3%	28.9%	6.2%

C-3(2) 右の年平均の為替相場の表を見ると、最も有利な条件で日本からアメリカに旅行に行くことができたのは、次の1~4のうちどの年ですか。

		2015年	2016年 (正解)	2017年	2018年	無回答
中学2年生	N	238	1535	77	76	115
	%	11.7%	75.2%	3.8%	3.7%	5.6%

C-3(2) 高校卒業後に就職せず、大学に進学することの機会費用と考えられないのは、次の1~4のうちどれですか。

		食費で買った何か別の もの (正解)	授業料で買った何か別の もの	書籍代で買った何か別の もの	就職すれば得られた所得	無回答
高校2年生	N	827	256	167	863	125
	%	37.0%	11.4%	7.5%	38.6%	5.6%

C-3(3) 経済が完全雇用の状況下で急激なインフレーションが進行中の時に、それをもっともよく抑える金融政策と財政政策の組み合わせは、次の1~4のどれですか。

		国債の購入 財政赤字 の拡大	国債の購入 財政赤字 の削減	国債の売却 財政赤字 の拡大	国債の売却 財政赤字 の削減 (正解)	無回答
中学2年生	N	186	636	149	652	418
	%	9.1%	31.2%	7.3%	31.9%	20.5%
高校2年生	N	361	783	236	721	137
	%	16.1%	35.0%	10.5%	32.2%	6.1%

経済リテラシー

経済意見 ※小学生には () 内の文言を用いた。ふりがなは省略した。

(4) 経済についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

C-3(4)1 A「収入はもっと平等にすべきだ」(収入(働くことで得たお金)は、もっと平等にすべきだ)

B「個々人の努力を刺激するようもっと収入の開きを大きくすべきだ」

(たくさん働こうとする意欲を高めるために、収入の違いをもっと大きくすべきだ)

		Aの意見	Bの意見	わからない	無回答
小学5年生	N	815	792	648	17
	%	35.9%	34.9%	28.5%	0.7%
中学2年生	N	520	816	657	48
	%	25.5%	40.0%	32.2%	2.4%
高校2年生	N	496	1005	720	17
	%	22.2%	44.9%	32.2%	0.8%

C-3(4)2 A「長い目で見ると、勤勉に(いっしょうけんめいに)働けば生活がよくなって成功するものだ」

B「勤勉に(いっしょうけんめいに)働いても成功するとは限らない、むしろ運やコネによる部分が多い」

		Aの意見	Bの意見	わからない	無回答
小学5年生	N	1195	549	512	16
	%	52.6%	24.2%	22.5%	0.7%
中学2年生	N	635	739	612	55
	%	31.1%	36.2%	30.0%	2.7%
高校2年生	N	755	973	495	15
	%	33.7%	43.5%	22.1%	0.7%

C-3(4)3 A「他の人を犠牲にしなければ豊かにはなれない」(ほかの人を犠牲にしなければ、豊かにはなれない)

B「富は増えていくから、みんなが豊かになれる」(みんなの富が増えていくことで、みんなが豊かになれる)

		Aの意見	Bの意見	わからない	無回答
小学5年生	N	207	1588	465	12
	%	9.1%	69.9%	20.5%	0.5%
中学2年生	N	539	677	764	61
	%	26.4%	33.2%	37.4%	3.0%
高校2年生	N	830	651	733	24
	%	37.1%	29.1%	32.8%	1.1%

C-4(4) f.~j.にも経済に関連する意見がある。

倫理リテラシー

倫理知識

C-4(1) 次の文章のうち、臓器移植ができる場合をすべて選んで番号に○をつけてください。

	正答			正解	不正解
1. 事前に臓器移植に同意していた患者の、心臓が完全に止まった場合	○	中学2年生	N	951	1090
			%	46.6%	53.4%
		高校2年生	N	1171	1067
			%	52.3%	47.7%
2. 事前に臓器移植に同意していた患者が、脳死状態になった場合	○	中学2年生	N	1440	601
			%	70.6%	29.4%
		高校2年生	N	1804	434
			%	80.6%	19.4%
3. 事前に臓器移植の意思表示をしていない患者が脳死状態になり、患者の家族が臓器移植に同意した場合	○	中学2年生	N	1320	721
			%	64.7%	35.3%
		高校2年生	N	1415	823
			%	63.2%	36.8%
4. 事前に臓器移植の意思表示をしていない患者が脳死状態になった場合 (家族の同意は不要)	×	中学2年生	N	1936	105
			%	94.9%	5.1%
		高校2年生	N	2161	77
			%	96.6%	3.4%

※4の正解には未回答も含む

倫理意見

(2) 臓器提供者をくじ引きできめることにします。くじ引きで当たった人の臓器を、その臓器を必要としている患者に移植し、命を救うのです。くじ引きは完全に平等に行われます。くじで当たる人は大統領かもしれないし、サラリーマンかもしれないし、医師かもしれないし、今にも自殺しようとしている人かもしれないし、犯罪者かもしれない。すべては平等です。

あなたはこの提案に賛成しますか、反対しますか。その理由を含めて教えてください。

C4(2) 臓器くじへの賛否

		賛成	反対	無回答	合計
中学2年生	N	341	1548	152	2041
	%	16.7%	75.8%	7.4%	100.0%
高校2年生	N	396	1764	78	2238
	%	17.7%	78.8%	3.5%	100.0%

C-4(2) 前の質問であなたが述べた意見は、AとBの考え方どちらに近いですか。

A 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する。

B 行為の動機となる公正などの義務を重視する。

		Aの意見	Bの意見	わからない	無回答
中学2年生	N	649	435	839	118
	%	31.8%	21.3%	41.1%	5.8%
高校2年生	N	816	576	749	97
	%	36.5%	25.7%	33.5%	4.3%

倫理意見

(3) あなたは、次のa~dのことが世の中で行われることについてどのように考えますか。

			認められる	どちらかとい えば認められ る	どちらともい えない	どちらかとい えば認められ ない	認められない	無回答
a. 生まれてくる子どもに重い障害がある可能性が高い場合に、妊娠中絶をする	中学2年生	N	226	255	715	328	469	48
		%	11.1%	12.5%	35.0%	16.1%	23.0%	2.4%
	高校2年生	N	416	453	773	308	270	18
		%	18.6%	20.2%	34.5%	13.8%	12.1%	0.8%
b. 受精卵に遺伝子操作を行い、性別や身体の特徴など親の希望に合わせた子どもをつくる	中学2年生	N	127	190	530	387	760	47
		%	6.2%	9.3%	26.0%	19.0%	37.2%	2.3%
	高校2年生	N	167	300	560	533	658	20
		%	7.5%	13.4%	25.0%	23.8%	29.4%	0.9%
c. 不治の病で耐えられない苦痛のある患者が希望した場合に、医師が患者を苦しめない方法で死亡させる	中学2年生	N	623	463	463	136	305	51
		%	30.5%	22.7%	22.7%	6.7%	14.9%	2.5%
	高校2年生	N	1016	659	345	87	112	19
		%	45.4%	29.4%	15.4%	3.9%	5.0%	0.8%
d. 人の命を救うために、動物を医学実験に使う	中学2年生	N	214	268	720	287	501	51
		%	10.5%	13.1%	35.3%	14.1%	24.5%	2.5%
	高校2年生	N	356	500	828	270	265	19
		%	15.9%	22.3%	37.0%	12.1%	11.8%	0.8%

(4) 次のa~jの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

			とてもそう思 う	まあそう思 う	あまりそう思 わない	まったくそう 思わない	わからない	無回答
a. 家族のためには、自分の個人的利益は二の次にすべきだ	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	183	733	528	101	441	55
		%	9.0%	35.9%	25.9%	4.9%	21.6%	2.7%
高校2年生	N	193	861	773	145	246	20	
	%	8.6%	38.5%	34.5%	6.5%	11.0%	0.9%	
b. 集団の中では、全体の利益のために個人の利益を犠牲にするべきだ	小学5年生	N	113	385	685	480	597	12
		%	5.0%	16.9%	30.1%	21.1%	26.3%	0.5%
	中学2年生	N	95	426	825	315	318	62
		%	4.7%	20.9%	40.4%	15.4%	15.6%	3.0%
高校2年生	N	106	643	973	283	208	25	
	%	4.7%	28.7%	43.5%	12.6%	9.3%	1.1%	
c. たとえ理不尽でも、子どもは親の要求に従うべきだ (たとえ間違った要求だとしても、子どもは親の要求に従うべきだ)	小学5年生	N	75	207	735	1005	235	15
		%	3.3%	9.1%	32.4%	44.2%	10.3%	0.7%
	中学2年生	N	47	174	718	878	163	61
		%	2.3%	8.5%	35.2%	43.0%	8.0%	3.0%
高校2年生	N	44	257	883	938	91	25	
	%	2.0%	11.5%	39.5%	41.9%	4.1%	1.1%	
d. 集団の中では和を重んじ、いさかいをさけるべきだ	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	286	599	479	147	452	78
		%	14.0%	29.3%	23.5%	7.2%	22.1%	3.8%
高校2年生	N	283	998	547	157	220	33	
	%	12.6%	44.6%	24.4%	7.0%	9.8%	1.5%	
e. たとえ意見の不一致があったとしても対立はさけるべきだ (たとえ意見の違いがあったとしても対立はさけるべきだ)	小学5年生	N	533	560	493	227	437	22
		%	23.5%	24.6%	21.7%	10.0%	19.2%	1.0%
	中学2年生	N	264	495	688	249	276	69
		%	12.9%	24.3%	33.7%	12.2%	13.5%	3.4%
高校2年生	N	203	634	918	308	137	38	
	%	9.1%	28.3%	41.0%	13.8%	6.1%	1.7%	

小学生には () 内の文言を用いた。ふりがなは省略した。

(4) 次のa~jの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

			とてもそう思 う	まあそう思 う	あまりそう思 わ ない	まったくそう 思 わ ない	わからない	無回答
f. わたしたちは景気などの現在の問題をあまり重視せず、将来の環境問題に頭を悩ませすぎている	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	145	489	632	229	472	74
		%	7.1%	24.0%	31.0%	11.2%	23.1%	3.6%
	高校2年生	N	175	572	837	222	401	31
		%	7.8%	25.6%	37.4%	9.9%	17.9%	1.4%
g. 今、わたしたちが日常生活でしていることは、ほとんど全てが環境を損なっている (今、わたしたちが日常生活で行っていることは、ほとんどすべてが環境を悪くしている)	小学5年生	N	259	646	739	266	346	16
		%	11.4%	28.4%	32.5%	11.7%	15.2%	0.7%
	中学2年生	N	220	644	559	99	446	73
		%	10.8%	31.6%	27.4%	4.9%	21.9%	3.6%
	高校2年生	N	202	848	739	98	326	25
		%	9.0%	37.9%	33.0%	4.4%	14.6%	1.1%
h. 人類の進歩が環境を損なっていることを人々は気にしすぎている	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	79	224	840	342	470	86
		%	3.9%	11.0%	41.2%	16.8%	23.0%	4.2%
	高校2年生	N	97	350	1086	340	335	30
		%	4.3%	15.6%	48.5%	15.2%	15.0%	1.3%
i. 地球環境の保護よりも、経済成長を優先すべきだ (地球環境の保護よりも、経済の成長を優先すべきだ)	小学5年生	N	62	120	795	841	436	18
		%	2.7%	5.3%	35.0%	37.0%	19.2%	0.8%
	中学2年生	N	51	95	802	619	398	76
		%	2.5%	4.7%	39.3%	30.3%	19.5%	3.7%
	高校2年生	N	73	187	1085	508	358	27
		%	3.3%	8.4%	48.5%	22.7%	16.0%	1.2%
j. 経済発展は常に環境破壊をともなう (経済の発展は常に環境の破壊を引き起こす)	小学5年生	N	354	554	528	193	628	15
		%	15.6%	24.4%	23.2%	8.5%	27.6%	0.7%
	中学2年生	N	345	607	452	113	453	71
		%	16.9%	29.7%	22.1%	5.5%	22.2%	3.5%
	高校2年生	N	369	880	543	98	323	25
		%	16.5%	39.3%	24.3%	4.4%	14.4%	1.1%

小学生には () 内の文言を用いた。ふりがなは省略した。

D-1 あなたは、18歳という年齢を「大人」だと思いますか、「子ども」だと思いますか。

		大人	子ども	無回答
小学5年生	N	1208	1039	25
	%	53.2%	45.7%	1.1%
中学2年生	N	954	986	101
	%	46.7%	48.3%	4.9%
高校2年生	N	839	1361	38
	%	37.5%	60.8%	1.7%

D-2 では、なぜそう思いますか。その理由としてあてはまるものをいくつでも選んでください。

【「大人」と回答した児童・生徒】

		1 18歳は十分歳をとっているから	2 十分な判断力があるから	3 責任感があるから	4 自分の身の回りのことが自分でできるから	5 身体は「大人」と変わらないから	6 一人暮らしをしているから	7 経済的に自立しているから	8 結婚しているから	9 自分の子どもがいるから	10 選挙権があるから	11 その他	回答者数	平均回答数
小学5年生	N	215	874	668	878	433	262	508	74	57	394	123	1208	3.71
	%	17.8%	72.4%	55.3%	72.7%	35.8%	21.7%	42.1%	6.1%	4.7%	32.6%	10.2%	100.0%	
中学2年生	N	202	768	595	669	389	132	398	54	40	476	96	954	4.00
	%	21.2%	80.5%	62.4%	70.1%	40.8%	13.8%	41.7%	5.7%	4.2%	49.9%	10.1%	100.0%	
高校2年生	N	197	597	464	511	339	48	142	28	19	375	47	839	3.30
	%	23.5%	71.2%	55.3%	60.9%	40.4%	5.7%	16.9%	3.3%	2.3%	44.7%	5.6%	100.0%	

【「子ども」と回答した児童・生徒】

		1 18歳はまだ若いから	2 十分な判断力があるとは言えないから	3 責任感がないと思うから	4 自分の身の回りのことでも、自分でできないことがあるから	5 「大人」と言えるほど身体が成長していないから	6 一人暮らしをしていないから	7 経済的に自立していないから	8 結婚していないから	9 自分の子どもがいる人が少ないから	10 選挙権がないから	11 法律上、成人ではないから	12 その他	回答者数	平均回答数
小学5年生	N	608	528	382	541	217	124	388	164	130	570	172	163	1039	3.84
	%	58.5%	50.8%	36.8%	52.1%	20.9%	11.9%	37.3%	15.8%	12.5%	54.9%	16.6%	15.7%	100.0%	
中学2年生	N	529	622	474	481	93	53	511	78	78	116	440	114	986	3.64
	%	53.7%	63.1%	48.1%	48.8%	9.4%	5.4%	51.8%	7.9%	7.9%	11.8%	44.6%	11.6%	100.0%	
高校2年生	N	579	973	798	737	92	89	970	78	92	67	420	95	1361	3.67
	%	42.5%	71.5%	58.6%	54.2%	6.8%	6.5%	71.3%	5.7%	6.8%	4.9%	30.9%	7.0%	100%	

D-3 2022年4月に成人年齢が「18歳」に引き下げられます。そのことを知っていましたか。

		知っていた	18歳に引き下げられることは知っていたが、2022年からだと知らないかった	知らないかった	無回答
小学5年生	N	380	700	1160	32
	%	16.7%	30.8%	51.1%	1.4%
中学2年生	N	776	746	410	109
	%	38.0%	36.6%	20.1%	5.3%
高校2年生	N	1839	312	48	39
	%	82.2%	13.9%	2.1%	1.7%

D-4 次のa～qの内容について、「18歳」で適用することについてどのように考えますか。

			18歳よりもっと早くても良い	18歳が良い	20歳が良い（18歳ではまだ早い）	20歳でも早い	無回答
a 飲酒	中学2年生	N	81	455	1214	202	89
		%	4.0%	22.3%	59.5%	9.9%	4.4%
	高校2年生	N	92	584	1404	131	27
		%	4.1%	26.1%	62.7%	5.9%	1.2%
b 喫煙	中学2年生	N	37	202	1026	677	99
		%	1.8%	9.9%	50.3%	33.2%	4.9%
	高校2年生	N	45	228	1299	640	26
		%	2.0%	10.2%	58.0%	28.6%	1.2%
c 競馬・ポートレース・競輪などの公営ギャンブル	中学2年生	N	75	312	832	722	100
		%	3.7%	15.3%	40.8%	35.4%	4.9%
	高校2年生	N	81	315	1172	643	27
		%	3.6%	14.1%	52.4%	28.7%	1.2%
d バチンコ・パチスロ	中学2年生	N	77	330	820	706	108
		%	3.8%	16.2%	40.2%	34.6%	5.3%
	高校2年生	N	79	339	1158	631	31
		%	3.5%	15.1%	51.7%	28.2%	1.4%
e 罪を犯すと名前や写真が公開される	中学2年生	N	484	669	562	226	100
		%	23.7%	32.8%	27.5%	11.1%	4.9%
	高校2年生	N	763	727	600	121	27
		%	34.1%	32.5%	26.8%	5.4%	1.2%
f 親の同意なしで結婚できる	中学2年生	N	150	605	845	336	105
		%	7.3%	29.6%	41.4%	16.5%	5.1%
	高校2年生	N	175	1051	875	112	25
		%	7.8%	47.0%	39.1%	5.0%	1.1%
g 国民年金への加入義務が発生する	中学2年生	N	44	392	1109	362	134
		%	2.2%	19.2%	54.3%	17.7%	6.6%
	高校2年生	N	49	400	1301	449	39
		%	2.2%	17.9%	58.1%	20.1%	1.7%
h 親の同意なしでローン契約・クレジットカードがつかれる	中学2年生	N	115	604	956	257	109
		%	5.6%	29.6%	46.8%	12.6%	5.3%
	高校2年生	N	112	826	1135	137	28
		%	5.0%	36.9%	50.7%	6.1%	1.3%
i 親の同意なしで賃貸契約ができる	中学2年生	N	100	612	935	274	120
		%	4.9%	30.0%	45.8%	13.4%	5.9%
	高校2年生	N	100	883	1103	122	30
		%	4.5%	39.5%	49.3%	5.5%	1.3%
j 携帯電話や車の購入（契約行為）を一人でできる	中学2年生	N	165	865	753	154	104
		%	8.1%	42.4%	36.9%	7.5%	5.1%
	高校2年生	N	155	1113	867	76	27
		%	6.9%	49.7%	38.7%	3.4%	1.2%
k 養子縁組ができる	中学2年生	N	151	501	883	295	211
		%	7.4%	24.5%	43.3%	14.5%	10.3%
	高校2年生	N	170	543	1085	374	66
		%	7.6%	24.3%	48.5%	16.7%	2.9%
l 10年有効なパスポートが作れる	中学2年生	N	357	858	579	87	160
		%	17.5%	42.0%	28.4%	4.3%	7.8%
	高校2年生	N	493	1136	523	33	53
		%	22.0%	50.8%	23.4%	1.5%	2.4%

18歳で適用すること

D-4 次のa～qの内容について、「18歳」で適用することについてどのように考えますか。

			18歳よりもっと早くても良い	18歳が良い	20歳が良い（18歳ではまだ早い）	20歳でも早い	無回答
m 性別変更の申し立てができる	中学2年生	N	825	530	369	161	156
		%	40.4%	26.0%	18.1%	7.9%	7.6%
	高校2年生	N	1067	741	333	45	52
		%	47.7%	33.1%	14.9%	2.0%	2.3%
n 民事裁判を一人で起こせる	中学2年生	N	225	512	813	322	169
		%	11.0%	25.1%	39.8%	15.8%	8.3%
	高校2年生	N	289	814	919	160	56
		%	12.9%	36.4%	41.1%	7.1%	2.5%
o 医師や公認会計士、司法書士などの資格取得	中学2年生	N	347	851	537	139	167
		%	17.0%	41.7%	26.3%	6.8%	8.2%
	高校2年生	N	396	1035	635	117	55
		%	17.7%	46.2%	28.4%	5.2%	2.5%
p 選挙権が得られる	中学2年生	N	241	1134	413	89	164
		%	11.8%	55.6%	20.2%	4.4%	8.0%
	高校2年生	N	196	1416	525	46	55
		%	8.8%	63.3%	23.5%	2.1%	2.5%
q 裁判員に選ばれるようになる	中学2年生	N	120	481	816	460	164
		%	5.9%	23.6%	40.0%	22.5%	8.0%
	高校2年生	N	95	666	982	439	56
		%	4.2%	29.8%	43.9%	19.6%	2.5%

D-5 よい大人の市民になるために、次のa～mのことはどのくらい重要だと思いますか。

			とても重要で ある	まあまあ重要 である	それほど重要 ではない	まったく重要 でない	わからない	無回答
a 選挙で投票する	小学5年生	N	684	858	376	68	266	20
		%	30.1%	37.8%	16.5%	3.0%	11.7%	0.9%
	中学2年生	N	867	707	166	28	123	150
		%	42.5%	34.6%	8.1%	1.4%	6.0%	7.3%
	高校2年生	N	972	913	195	33	67	58
		%	43.4%	40.8%	8.7%	1.5%	3.0%	2.6%
b 特定の政党を支持する	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	287	620	598	83	288	165
		%	14.1%	30.4%	29.3%	4.1%	14.1%	8.1%
	高校2年生	N	202	695	918	146	218	59
		%	9.0%	31.1%	41.0%	6.5%	9.7%	2.6%
c 裁判員に選ばれたら引き受ける	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	386	671	470	84	263	167
		%	18.9%	32.9%	23.0%	4.1%	12.9%	8.2%
	高校2年生	N	414	938	508	100	216	62
		%	18.5%	41.9%	22.7%	4.5%	9.7%	2.8%
d 国の歴史を知っている	小学5年生	N	720	969	344	43	181	15
		%	31.7%	42.6%	15.1%	1.9%	8.0%	0.7%
	中学2年生	N	526	737	375	77	167	159
		%	25.8%	36.1%	18.4%	3.8%	8.2%	7.8%
	高校2年生	N	555	1008	424	73	112	66
		%	24.8%	45.0%	18.9%	3.3%	5.0%	2.9%
e 新聞・テレビ・インターネットなどで時事問題の知識を得ようとする	小学5年生	N	1077	831	153	41	151	19
		%	47.4%	36.6%	6.7%	1.8%	6.6%	0.8%
	中学2年生	N	816	720	178	34	134	159
		%	40.0%	35.3%	8.7%	1.7%	6.6%	7.8%
	高校2年生	N	949	972	147	29	77	64
		%	42.4%	43.4%	6.6%	1.3%	3.4%	2.9%
f 政治や社会の問題にかかわる議論に参加する	小学5年生	N	488	852	500	82	316	34
		%	21.5%	37.5%	22.0%	3.6%	13.9%	1.5%
	中学2年生	N	401	705	472	66	233	164
		%	19.6%	34.5%	23.1%	3.2%	11.4%	8.0%
	高校2年生	N	333	958	624	77	184	62
		%	14.9%	42.8%	27.9%	3.4%	8.2%	2.8%
g 不当だと思うことには、平和的な抗議を行う	小学5年生	N	—	—	—	—	—	—
		%	—	—	—	—	—	—
	中学2年生	N	586	738	280	49	217	171
		%	28.7%	36.2%	13.7%	2.4%	10.6%	8.4%
	高校2年生	N	460	1044	436	56	175	67
		%	20.6%	46.6%	19.5%	2.5%	7.8%	3.0%
h ごみを減らし、再利用やリサイクルを行う	小学5年生	N	1697	394	75	21	67	18
		%	74.7%	17.3%	3.3%	0.9%	2.9%	0.8%
	中学2年生	N	1232	467	75	15	88	164
		%	60.4%	22.9%	3.7%	0.7%	4.3%	8.0%
	高校2年生	N	1207	799	93	14	62	63
		%	53.9%	35.7%	4.2%	0.6%	2.8%	2.8%

D-5 よい大人の市民になるために、次のa~mのことはどのくらい重要だと思いますか。(続)

			とても重要で ある	まあまあ重要 である	それほど重要 ではない	まったく重要 でない	わからない	無回答
i 環境に配慮された食品・商品を選んで購入する (環境に配慮した食品・商品を選んで購入する)	小学5年生	N	1238	639	160	37	176	22
		%	54.5%	28.1%	7.0%	1.6%	7.7%	1.0%
	中学2年生	N	983	597	149	36	106	170
		%	48.2%	29.3%	7.3%	1.8%	5.2%	8.3%
	高校2年生	N	848	951	245	35	92	67
		%	37.9%	42.5%	10.9%	1.6%	4.1%	3.0%
j 地元産品を購入して地産地消を 実践する (地元でとれた野菜を買って、 地産地消(地元でとれたものを 地域で消費する)を実践する)	小学5年生	N	989	707	282	49	224	21
		%	43.5%	31.1%	12.4%	2.2%	9.9%	0.9%
	中学2年生	N	870	611	205	34	151	170
		%	42.6%	29.9%	10.0%	1.7%	7.4%	8.3%
	高校2年生	N	704	947	359	44	119	65
		%	31.5%	42.3%	16.0%	2.0%	5.3%	2.9%
k 購入した商品やサービスに問 題があれば、事業者に申立てを 行う (購入した商品に問題があれ ば、購入したお店や生産した会 社に意見を言う)	小学5年生	N	590	824	465	105	270	18
		%	26.0%	36.3%	20.5%	4.6%	11.9%	0.8%
	中学2年生	N	486	730	393	44	219	169
		%	23.8%	35.8%	19.3%	2.2%	10.7%	8.3%
	高校2年生	N	556	1015	415	45	139	68
		%	24.8%	45.4%	18.5%	2.0%	6.2%	3.0%
l ライフステージや経済状況の変 化等、将来を見通した生活設計 を考える (自分の今後の人生や経済の状 況の変化などに注意して、将来 の生活設計を考える)	小学5年生	N	1089	694	157	33	277	22
		%	47.9%	30.5%	6.9%	1.5%	12.2%	1.0%
	中学2年生	N	715	703	181	34	243	165
		%	35.0%	34.4%	8.9%	1.7%	11.9%	8.1%
	高校2年生	N	893	997	149	21	117	61
		%	39.9%	44.5%	6.7%	0.9%	5.2%	2.7%
m 地域社会のためにボランティ ア活動に参加する	小学5年生	N	1037	801	200	55	162	17
		%	45.6%	35.3%	8.8%	2.4%	7.1%	0.7%
	中学2年生	N	723	733	240	40	143	162
		%	35.4%	35.9%	11.8%	2.0%	7.0%	7.9%
	高校2年生	N	610	1052	338	61	115	62
		%	27.3%	47.0%	15.1%	2.7%	5.1%	2.8%

小学生には () 内の文言を用いた。ふりがなは省略した。

4 調査票

18歳についての調査

この調査は、選挙で投票できる年齢と成人になる年齢がそれぞれ18歳へと引き下げられたことと関連し

て、小学生であるみなさんが、18歳という年齢をどのように考えているかについて調査するものです。

以下の注意事項をよく読んでから、回答を始めてください。

- 調査票は、この表紙を入れて全部で7ページあります。回答時間は約30分です。
- 回答は、もっとも自分の考えに近い番号に○をつけるか、()の中に言葉を記入してください。
- 調査の結果は、誰が回答したかのわからないようにして処理しますので、ご安心ください。
- 調査の結果は、学校での成績に影響しません。テストではありませんので、正直に答えてください。
- もし答えにくい質問がある場合は、無理に答えずともよいです。とちゅうでいつでも回答をやめることができます。回答しない場合でも、あなたが不利になることはありません。
- この調査票に回答することで、研究への協力に同意したものとします。ご協力をお願いします。

この調査は、科学研究費助成事業(科学研究費補助金)令和2年度～令和4年度 基盤研究(B)18歳市民力を育成する社会科・公民科の系統的・総合的教育課程編成に関する研究(課題番号:20H01670 研究代表者 唐木清志(筑波大学))の一部です。調査の実施にあたっては、筑波大学人間系研究倫理委員会の審査を受け、承認を得ています。

ご不明な点などございましたら、下記までご連絡ください。

筑波大学人間系 唐木清志 TEL: 029-853-6730 E-mail: karaki@human.tsukuba.ac.jp
 筑波大学人間系 エリア支援室(研究支援) TEL: 029-853-5606 E-mail: hitorinri@un.tsukuba.ac.jp

次のことについて、()には数字を記入し、番号には○をつけてください。

F-1 あなたの出席番号を書いてください。()

F-2 あなたが通っている学校は、次のうちどれですか。

1. 国立
2. 公立(都道府県立また市区町村立)
3. 私立

F-3 あなたは今、何年生ですか。()年生

調査票 (小学生用)

A あなたについて、うかがいます。()には数字や言葉を記入し、番号には○をつけてください。

A-1 あなたは西暦何年、何月の生まれですか。 20()年()月 生まれ

A-2 性別を教えてください。 1. 女性 2. 男性 3. 回答しない

A-3 今、将来つきたい職業がありますか。 1. ある(具体的に:)
2. ない

A-4 あなたはふだん、次の a~e のことをどのくらいしますか。あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	ほぼ毎日 する	週1回 以上する	月に1回 以上する	月1回より 少ない、 まったくしない
a. 政治や社会の問題について、家族と話を する。	1	2	3	4
b. 国内外のニュースを知るためにテレビを みる。	1	2	3	4
c. 国内外のニュースを知るために新聞を 読む。	1	2	3	4
d. 政治や社会の問題について、友人と話を する。	1	2	3	4
e. 国内外のニュースを知るためにインター ネットを使う。	1	2	3	4

B つぎに、学校生活のことについて、うかがいます。

B-1 これまでに、次の a~d のことに意欲的にとりくんだことがありましたか。あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とり くんだ	とりくま なかった	わから ない
a. 学級のルールを決める話し合 い	1	2	3
b. 運動会や文化祭など学校行事の企画や運 営	1	2	3
c. 児童会活動	1	2	3
d. 地域社会でのボランティア活 動	1	2	3
(具体的に:)			

調査票(小学生用)

B-2 ふだんの授業の中で話し合いをする時に、次のa~gのことはどのくらいあてはまりますか。あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
a. 先生は私たちに、自分の考えをもつように求めている。	1	2	3	4
b. 先生は私たちに、自分の意見を発表するように求めている。	1	2	3	4
c. 話し合いの中で、社会で起こっている問題について話す人がクラスにいる。	1	2	3	4
d. 人と意見がちがっていても、自分の意見を言う人がクラスにいる。	1	2	3	4
e. 先生は私たちに、自分と異なった意見をもつ人の話をきくように求めている。	1	2	3	4
f. 先生は私たちに、話し合いのときにはいろいろな意見を出すように求めている。	1	2	3	4
g. 先生と異なった自分の意見を、ためらいなく発言することができる。	1	2	3	4

B-3 社会科の授業に関する次のa~dの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
a. 社会科の授業は、将来の受験に役立つ。	1	2	3	4
b. 社会科の授業は、好きな仕事につくことに役立つ。	1	2	3	4
c. 社会科の授業は、ふだんの生活の中で役立つ。	1	2	3	4
d. 社会科の授業は、自分の生き方を考えるのに役立つ。	1	2	3	4

つ。

調査票(小学生用)

(3) 次のAとBの意見について、あなたはどちらの意見に近いですか。番号に1つずつ○をつけてください。

① A「収入(働くことで得たお金)は、もっと平等にす B「たくさん働こうする意欲を高めるために、収入
べきだ」 の違いをもっと大きくすべきだ」

1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない

② A「長い目で見ると、いっしょうけんめいに働けば B「いっしょうけんめいに働いても成功するとは限ら
生活がよくなって成功するものだ」 ない、むしろ運やコネによる部分が大きい」

1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない

③ A「ほかの人を犠牲にしなければ、豊かにはなれな B「みんなの富が増えていくことで、みんなが豊かに
い」 になれる」

1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない

(4) 次のa~fの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう おもわない	まったく そう おもわない	わから ない
a. 集団の中では、全体の利益のために個人の利益を犠牲にするべきだ	1	2	3	4	5
b. たとえ間違った要求だとしても、子どもは親の要求に従うべきだ	1	2	3	4	5
c. たとえ意見の違いがあったとしても対立はさけるべきだ	1	2	3	4	5
d. 今、わたしたちが日常生活で行っていることは、ほとんどすべてが環境を悪くしている	1	2	3	4	5
e. 地球環境の保護よりも、経済の成長を優先すべきだ	1	2	3	4	5
f. 経済の発展は常に環境の破壊を引き起こす	1	2	3	4	5

D さいごに、18歳という年齢について、うかがいます。

D-1 あなたは、18歳という年齢を「大人」だと思えますか、「子ども」だと思えますか。あなたの考えに近い番号に○をつけてください。

1.大人

2.子ども

D-2 なぜそう思えますか。その理由としてあてはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

【「大人」と回答した人はこの中から選択】

【「子ども」と回答した人はこの中から選択】

1. 18歳は十分に歳をとっているから
2. 十分な判断力があるから
3. 責任感があるから
4. 自分の身の回りのことが自分でできるから
5. 身体が「大人」と変わらないから
6. 一人暮らしをしているから
7. 経済的に自立しているから
8. 結婚しているから
9. 自分の子どもがいるから
10. 選挙で投票できるから
11. その他
(具体的に:)

1. 18歳はまだ若いから
2. 十分な判断力があるとは言えないから
3. 責任感がないと思うから
4. 自分の身の回りのことでも、自分でできないことがあるから
5. 「大人」と言えるほど身体が成長していないから
6. 一人暮らしをしていないから
7. 経済的に自立していないから
8. 結婚していないから
9. 自分の子どもがいる人が少ないから
10. 法律上、成人ではないから
11. その他
(具体的に:)

D-3 2022年4月から、成人となる年齢が「18歳」に引き下げられます。そのことを知っていましたか。あなたの考えに近い番号に○をつけてください。

1. 知っていた
2. 18歳に引き下げられることは知っていたが、
2022年4月からだと知らなかった
3. 知らなかった

調査票（小学生用）

D-4 よい大人の市民になるために、次の a~j のことはどのぐらい重要だと思いますか。あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とても じゅうよう 重要で ある	まあまあ じゅうよう 重要で ある	それほど じゅうよう 重要では ない	まったく じゅうよう 重要で ない	わから ない
a. 選挙で投票する	1	2	3	4	5
b. 国の歴史を知っている	1	2	3	4	5
c. 新聞・テレビ・インターネットなどで社会の問題 についての知識を得ようとする	1	2	3	4	5
d. 政治や社会の問題にかかわる議論に参加す る	1	2	3	4	5
e. ごみをへらし、再利用やリサイクルを行う	1	2	3	4	5
f. 環境に配慮した食品・商品を選んで購入する	1	2	3	4	5
g. 地元でとれた野菜を買って、地産地消（地元 でとれたものを地域で消費する）を実践する	1	2	3	4	5
h. 購入した商品に問題があれば、購入したお店 や生産した会社に意見を言う	1	2	3	4	5
i. 自分の今後の人生や経済の状況の変化など に注意して、将来の生活設計を考える	1	2	3	4	5
j. 地域社会のためにボランティア活動に参加する	1	2	3	4	5

質問はこれでおわりです。ご協力ありがとうございました。

さいし 18歳市民力についての意識調査 いしき

この調査は、選挙権年齢と成人年齢が18歳へ引き下げられる中で、「18歳までに身に付けるべき、社会的課題の解決に主体的に取り組むために必要とされる基礎的な資質・能力」（18歳市民力）について、10代の皆さんの考えを聞いて、今後の学校教育の参考資料とするものです。

以下の注意事項をよく読んでから、回答を始めてください。

- 調査票は、表紙を入れて全部で8ページあります。回答時間は約20分です。
- 回答は、最も自分の考えに近い番号に○をつけるか、()に具体的に記入してください。
- 調査の結果は、回答者個人が特定できないように統計的に処理した上で、研究にのみ使用します。
- 学校での成績には一切影響しません。テストではありませんので、率直な意見を教えてください。
- もし答えにくい質問がある場合は、無理に答えなくても構いません。途中でいつでも回答をやめることができます。回答しない場合もあなたが不利益を受けることはありません。
- この調査票への回答をもって、研究への協力を同意していただいたものとします。ご協力をお願いします。

この調査は、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）令和2年度～令和4年度 基盤研究(B)18歳市民力を育成する社会科学・公民科の系統的・総合的教育課程編成に関する研究（課題番号：20H01670）研究代表者 唐木清志（筑波大学）の一部です。調査の実施にあたっては、筑波大学人間系研究倫理委員会の審査を受け、承認を得ています。

ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

筑波大学人間系 唐木清志 TEL: 029-853-6730 E-mail: karaki@human.tsukuba.ac.jp

筑波大学人間エリア支援室（研究支援） TEL: 029-853-5606 E-mail: hitorinri@un.tsukuba.ac.jp

F-1 あなたの出席番号を書いてください。（ ） ※事前/事後の調査を関連づけるためにのみ使用します

F-2 あなたが通っている学校は、次のうちどれですか。

1. 国立 2. 公立（都道府県立または市区町村立） 3. 私立

F-3 あなたは今、何年生ですか。（ ）年生

調査票（中学生用）

A まず、あなた自身のことについて、うかがいます。

A-1 あなたは西暦何年、何月の生まれですか。 20()年()月 生まれ

A-2 あなたの性別をお答えください。 1. 女性 2. 男性 3. 回答しない

A-3 今、将来つきたい職業がありますか。 1. ある（具体的に：)
2. ない

A-4 あなたはふだん、次の a～g のことをどのくらいしますか。

	ほぼ毎日 する	週1回 以上する	月に1回 以上する	月1回より少な い、まったくしない
a. 政治や社会の問題について、家族と話をする。	1	2	3	4
b. 国内外のニュースを知るためにテレビをみる。	1	2	3	4
c. 国内外のニュースを知るために新聞を読む。	1	2	3	4
d. 政治や社会の問題について、友人と話をする。	1	2	3	4
e. 国内外のニュースを知るためにインターネットを利用する。	1	2	3	4
f. 政治や社会の問題について、インターネットや SNS 上でコメントを投稿する。	1	2	3	4
g. 政治や社会の問題について、他の人の投稿に「いいね」やシェアをする。	1	2	3	4

B つぎに、学校生活のことについて、うかがいます。

B-1 これまでに、次の a～j のことに意欲的に取り組んだことがありましたか。

	取り 組んだ	取り組ま なかった	わから ない
a. 学級のルールを決める話し合い	1	2	3
b. 総合的な学習の時間などにおける、個人のテーマを設定した探究的学習	1	2	3
c. 体育祭や文化祭など学校行事の企画や運営	1	2	3
d. 生徒会活動	1	2	3
e. 部活動	1	2	3
f. 職業体験やインターンシップ	1	2	3
g. 学級や学年、学校などの代表者として、弁論大会などで発表 (具体的に：)	1	2	3
h. 校内での環境を守るための活動(清掃活動を含む)	1	2	3
i. 地域社会でのボランティア活動 (具体的に：)	1	2	3
j. 海外での体験 (具体的に：)	1	2	3

調査票（中学生用）

B-2 日常の授業で政治や社会の問題について話し合いをする時、次の a~g のことはどのくらい思いますか。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
a. 先生は私たちに、自分の考えをもつように求めている。	1	2	3	4
b. 先生は私たちに、自分の意見を発表するように求めている。	1	2	3	4
c. 話し合いの中で、社会にみられる問題について話す人がクラスにいる。	1	2	3	4
d. 人と意見がちがっていても、自分の意見を言う人がクラスにいる。	1	2	3	4
e. 先生は私たちに、自分と異なった意見をもつ人の話をきくように求めている。	1	2	3	4
f. 先生は私たちに、話し合いのときにはいろいろな意見を出すように求めている。	1	2	3	4
g. 先生と異なった自分の意見を、ためらいなく発言することができる。	1	2	3	4

B-3 社会科の授業に関する次の a~d の意見について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
a. 社会科の授業は、受験に役立つ。	1	2	3	4
b. 社会科の授業は、好きな仕事につくことに役立つ。	1	2	3	4
c. 社会科の授業は、普段の生活の中で役立つ。	1	2	3	4
d. 社会科の授業は、自分の生き方を考えるのに役立つ。	1	2	3	4

C-1 つぎに、政治に関することについて、うかがいます。

(1) 1つの法律案について衆議院と参議院で議決の結果が異なる場合に、衆議院でもう1度議決をして法律案を可決させる場合の条件は、次の 1~4 のうちどれですか。

1. 出席議員の過半数 2. 総議員の過半数 3. 出席議員の3分の2以上 4. 総議員の3分の2以上

(2) 右の写真の人物が内閣総理大臣になる前に任命されたことがない役職は、次の 1~4 のうちどれですか。

1. 内閣官房長官 2. 衆議院議長 3. 総務大臣 4. 自民党総裁

(3) 憲法改正について、あなたの意見は、次のA、Bのどちらの意見に近いですか。

A: 今の憲法は時代に合わなくなっているので、早い時期に改憲した方がよい。

B: 今の憲法は大筋として立派な憲法であるから、現在は改憲しない方がよい。

1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない



調査票(中学生用)

(4) 次の a~e の意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	わから ない
a. 社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関わりたい	1	2	3	4	5
b. 将来の国や地域の担い手として積極的に政策決定に参加したい	1	2	3	4	5
c. 私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない	1	2	3	4	5
d. 社会のことは複雑で、私は関わりたくない	1	2	3	4	5
e. 私個人の力では政府の決定に影響を与えられない	1	2	3	4	5

C-2 つぎに、法に関することについて、うかがいます。

(1) 次の文章のうち、正しいものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 日本国憲法は、国民の権利や自由を守るために、権力を制限する仕組みを定めている。
- 政治が誤った意見に基づいて行われることがないように、政治にかかわる意見を言う自由は、他の表現と比べて厳しく制限されている。
- 日本国憲法では拷問は禁止されているが、拷問によって得た自白が真実であるなら、その自白を有罪の証拠としてもかまわない。
- ある人の行為を処罰するには、その行為を罰することを、事前に法律で定めておく必要がある。

(2) 法についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

- ① A. 「法律というのは守るためにあるのだから、違反した場合は必ず制裁を加えるということことできれば意味がない」
 B. 「法律というのは状況によって制裁を加えるかどうかを判断すべきもので、文字通りに適用するのはよくない」
 1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない
- ② A. 「死刑はどんなときにもおこなうべきでない」
 B. 「場合によっては死刑もやむをえない」
 1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない

(3) 次の a~d の意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
a. それぞれが自分の権利や自由を主張すると、みんなの調和を乱し、全体の利益や秩序が損なわれることになる。	1	2	3	4
b. 女性の社会参加を実現するために、就職の際に女性を優先的に採用すべきである。	1	2	3	4
c. 法律に違反しなければ、多少悪いことをしてもかまわない。	1	2	3	4
d. 他人に迷惑をかけなければ、赤信号を渡ってもかまわない。	1	2	3	4

C-3 つぎに、経済に関することについて、うかがいます。

(1) 需要の変化が価格に大きな影響を与えているのは、次の1~4のうちどれですか。

- 1. キャベツが豊作のとき価格が下がった。
- 2. 歳末セールでテレビの価格が下がった。
- 3. 母の日にカーネーションの価格が上がった。
- 4. 海が荒れて不漁のとき魚の価格が上がった。

(2) 右の年平均の為替相場の表を見ると、最も有利な条件で日本からアメリカに旅行に行くことができたのは、次の1~4のうちどの年ですか。

年平均の為替相場

年	為替相場
2015	1ドル=121円
2016	1ドル=109円
2017	1ドル=112円
2018	1ドル=110円

- 1. 2015年
- 2. 2016年
- 3. 2017年
- 4. 2018年

(3) 経済が完全雇用の状況下で急激なインフレーションが進行中の時に、それをもっともよく抑える金融政策と財政政策の組み合わせは、次の1~4のどれですか。ただし、どちらの政策も同額ずつ実施されるものとする。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| <u>金融政策</u> | <u>財政政策</u> | <u>金融政策</u> | <u>財政政策</u> |
| 1. 国債の購入 | 財政赤字の拡大 | 2. 国債の購入 | 財政赤字の削減 |
| 3. 国債の売却 | 財政赤字の拡大 | 4. 国債の売却 | 財政赤字の削減 |

(IMF 資料より作成)

(4) 経済についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

- ① A「収入はもっと平等にすべきだ」
- B「個々人の努力を刺激するようもっと収入の開きを大きくすべきだ」
- 1. Aの意見
- 2. Bの意見
- 3. わからない
- ② A「長い目で見ると、勤勉に働けば生活がよくなって成功するものだ」
- B「勤勉に働いても成功するとは限らない、むしろ運やコネによる部分が多い」
- 1. Aの意見
- 2. Bの意見
- 3. わからない
- ③ A「他の人を犠牲にしなければ豊かにはなれない」
- B「富は増えていくから、みんなが豊かになれる」
- 1. Aの意見
- 2. Bの意見
- 3. わからない

C-4 つぎに、倫理に関することについて、うかがいます。

(1) 次の文章のうち、臓器移植ができる場合をすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1. 事前に臓器移植に同意していた患者の、心臓が完全に止まった場合
- 2. 事前に臓器移植に同意していた患者が、脳死状態になった場合
- 3. 事前に臓器移植の意思表示をしていない患者が脳死状態になり、患者の家族が臓器移植に同意した場合
- 4. 事前に臓器移植の意思表示をしていない患者が脳死状態になった場合(家族の同意は不要)

(2) 臓器提供者をくじ引きで定めることにします。くじ引きで当たった人の臓器を、その臓器を必要としている患者に移植し、命を救うのです。くじ引きは完全に平等に行われます。くじで当たる人は大統領かもしれないし、サラリーマンかもしれないし、医師かもしれないし、今にも自殺しようとしている人かもしれないし、犯罪者かもしれない。すべては平等です。

あなたはこの提案に賛成しますか、反対しますか。その理由を含めて教えてください。

賛成 ・ 反対 (どちらかに○)

(理由)

調査票(中学生用)

前の質問であなたが述べた意見は、AとBの考え方どちらに近いですか。

- A. 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する。
 B. 行為の動機となる公正などの義務を重視する。

1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない

(3) あなたは、次のa~dのことが世の中で行われることについてどのように考えますか。

	認められる	どちらかといえは認められる	どちらともいえない	どちらかといえは認められない	認められない
a. 生まれてくる子どもに重い障害がある可能性が高い場合に、妊娠中絶をする	1	2	3	4	5
b. 受精卵に遺伝子操作を行い、性別や身体の特徴など親の希望に合わせた子どもをつくる	1	2	3	4	5
c. 不治の病で耐えられない苦痛のある患者が希望した場合に、医師が患者を苦しめない方法で死亡させる	1	2	3	4	5
d. 人の命を救うために、動物を医学実験に使う	1	2	3	4	5

(4) 次のa~jの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない
a. 家族のためには、自分の個人的利益は二の次にすべきだ	1	2	3	4	5
b. 集団の中では、全体の利益のために個人の利益を犠牲にするべきだ	1	2	3	4	5
c. たとえ理不尽でも、子どもは親の要求に従うべきだ	1	2	3	4	5
d. 集団の中では和を重んじ、いさかいをさけるべきだ	1	2	3	4	5
e. たとえ意見の不一致があっても対立はさけるべきだ	1	2	3	4	5
f. わたしたちは景気などの現在の問題をあまり重視せず、将来の環境問題に頭を悩ませすぎている	1	2	3	4	5
g. 今、わたしたちが日常生活でしていることは、ほとんど全てが環境を損なっている	1	2	3	4	5
h. 人類の進歩が環境を損なっていることを人々は気にしすぎている	1	2	3	4	5
i. 地球環境の保護よりも、経済成長を優先すべきだ	1	2	3	4	5
j. 経済発展は常に環境破壊をとまなう	1	2	3	4	5

調査票（中学生用）

D さいごに、18歳という年齢について、うかがいます。

D-1 あなたは、18歳という年齢を「大人」だと思いませんか、「子ども」だと思いませんか。

1.大人

2.子ども

D-2 では、なぜそう思いませんか。その理由としてあてはまるものをいくつでも選んでください。

【「大人」と回答した人はこの中から選択】

【「子ども」と回答した人はこの中から選択】

1. 18歳は十分歳をとっているから
2. 十分な判断力があるから
3. 責任感があるから
4. 自分の身の回りのことが自分でできるから
5. 身体は「大人」と変わらないから
6. 一人暮らしをしているから
7. 経済的に自立しているから
8. 結婚しているから
9. 自分の子どもがいるから
10. 選挙権があるから
11. その他
(具体的に:)

1. 18歳はまだ若いから
2. 十分な判断力があるとは言えないから
3. 責任感がないと思うから
4. 自分の身の回りのことでも、自分でできないことがあるから
5. 「大人」と言えるほど身体が成長していないから
6. 一人暮らしをしていないから
7. 経済的に自立していないから
8. 結婚していないから
9. 自分の子どもがいる人が少ないから
10. 選挙権がないから
11. 法律上、成人ではないから
12. その他(具体的に:)

D-3 2022年4月に成人年齢が「18歳」に引き下げられます。そのことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 18歳に引き下げられることは知っていたが、
2022年からだとは知らなかった
3. 知らなかった

D-4 次のa~qの内容について、「18歳」で適用することについてどのように考えますか。

	18歳より もっと早く ても良い	18歳で 良い	20歳で良い (18歳では まだ早い)	20歳でも 早い
a. 飲酒	1	2	3	4
b. 喫煙	1	2	3	4
c. 競馬・ポートレース・競輪などの公営ギャンブル	1	2	3	4
d. パチンコ・パチスロ	1	2	3	4
e. 罪を犯すと名前や写真が公開される	1	2	3	4
f. 親の同意なしで結婚できる	1	2	3	4
g. 国民年金への加入義務が発生する	1	2	3	4
h. 親の同意なしでローン契約・クレジットカードがつかれる	1	2	3	4
i. 親の同意なしで貸付契約ができる	1	2	3	4
j. 携帯電話や車の購入(契約行為)を一人でできる	1	2	3	4

調査票（中学生用）

	18歳より もっと早く ても良い	18歳で 良い	20歳で良い (18歳では まだ早い)	20歳でも 早い
k. 養子縁組ができる <small>ようしえんぐみ</small>	1	2	3	4
l. 10年有効なパスポートが作れる	1	2	3	4
m. 性別変更の申し立てができる <small>せいべつ</small>	1	2	3	4
n. 民事裁判を一人で起こせる <small>みんじさいばん</small>	1	2	3	4
o. 医師や公認会計士、司法書士などの資格取得 <small>こうにんかいけいし しほうしょし</small>	1	2	3	4
p. 選挙権が得られる <small>せんきょけん</small>	1	2	3	4
q. 裁判員に選ばれるようになる <small>さいばんいん</small>	1	2	3	4

D-5 よい大人の市民になるために、次の a~m のことはどのくらい重要だと思いますか。

	とても 重要である	まあまあ 重要である	それほど重 要ではない	まったく重 要でない	わから ない
a. 選挙で投票する <small>せんきょ どうひょう</small>	1	2	3	4	5
b. 特定の政党を支持する <small>せいたう</small>	1	2	3	4	5
c. 裁判員に選ばれたら引き受ける <small>さいばんいん えら</small>	1	2	3	4	5
d. 国の歴史を知っている	1	2	3	4	5
e. 新聞・テレビ・インターネットなどで時事問題の 知識を得ようとする <small>ちしき</small>	1	2	3	4	5
f. 政治や社会の問題にかかわる議論に参加する	1	2	3	4	5
g. 不当だと思うことには、平和的な抗議を行う <small>ふとう こうぎ</small>	1	2	3	4	5
h. ごみを減らし、再利用やリサイクルを行う	1	2	3	4	5
i. 環境に配慮された食品・商品を選んで購入する <small>はいりよ こうにゆう</small>	1	2	3	4	5
j. 地元産品を購入して地産地消を実践する <small>じもとさんびん こうにゆう ちさんちしょう じっせん</small>	1	2	3	4	5
k. 購入した商品やサービスに問題があれば、事業 者に申立てを行う <small>こうにゆう</small>	1	2	3	4	5
l. ライフステージや経済状況の変化等、将来を見通 した生活設計を考える	1	2	3	4	5
m. 地域社会のためにボランティア活動に参加する	1	2	3	4	5

質問はこれでおわりです。ご協力ありがとうございました。

さいし しみんりょく いしき 18歳市民力についての意識調査

この調査は、選挙権年齢と成人年齢が18歳へ引き下げられる中で、「18歳までに身に付けるべき、社会的課題の解決に主体的に取り組むために必要とされる基礎的な資質・能力」（18歳市民力）について、10代の皆さんの考えを聞いて、今後の学校教育の参考資料とするものです。

以下の注意事項をよく読んでから、回答を始めてください。

- 調査票は、表紙を入れて全部で8ページあります。回答時間は約20分です。
- 回答は、最も自分の考えに近い番号に○をつけるか、()に具体的に記入してください。
- 調査の結果は、回答者個人が特定できないように統計的に処理した上で、研究にのみ使用します。
- 学校での成績には一切影響しません。テストではありませんので、率直な意見を教えてください。
- もし答えにくい質問がある場合は、無理に答えなくても構いません。途中でいつでも回答をやめることができます。回答しない場合もあなたが不利益を受けることはありません。
- この調査票への回答をもって、研究への協力を同意していただいたものとします。ご協力をお願いします。

この調査は、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）令和2年度～令和4年度 基盤研究(B)18歳市民力を育成する社会科・公民科の系統的・総合的教育課程編成に関する研究（課題番号：20H01670）研究代表者 唐木清志（筑波大学）の一部です。調査の実施にあたっては、筑波大学人間系研究倫理委員会の審査を受け、承認を得ています。

ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

筑波大学人間系 唐木清志 TEL: 029-853-6730 E-mail: karaki@human.tsukuba.ac.jp

筑波大学人間エリア支援室（研究支援） TEL: 029-853-5606 E-mail: hitorinri@un.tsukuba.ac.jp

F-1 あなたの出席番号を書いてください。（ ） ※事前/事後の調査を関連づけるためにのみ使用します

F-2 あなたが通っている学校は、次のうちどれですか。

1. 国立 2. 公立（都道府県立または市区町村立） 3. 私立

F-3 あなたは今、何年生ですか。（ ）年生

F-4 次の各科目の履修状況を教えてください。

- | | | | |
|-----------|---------------|-----------|------------|
| a. 現代社会 | 1. ()年生で履修済み | 2. 今年度履修中 | 3. 履修していない |
| b. 倫理 | 1. ()年生で履修済み | 2. 今年度履修中 | 3. 履修していない |
| c. 政治・経済 | 1. ()年生で履修済み | 2. 今年度履修中 | 3. 履修していない |
| d. その他() | 1. ()年生で履修済み | 2. 今年度履修中 | 3. 履修していない |

(↑関連する学校設定科目等がある場合は、先生の指示に沿ってここに記入)

調査票（高校生用）

A まず、あなた自身のことについて、うかがいます。

A-1 あなたは西暦何年、何月の生まれですか。 20()年()月 生まれ

A-2 あなたの性別をお答えください。 1. 女性 2. 男性 3. 回答しない

A-3 今、将来つきたい職業がありますか。 1. ある(具体的に:)
2. ない

A-4 あなたはふだん、次の a~g のことをどのくらいしますか。

	ほぼ毎日 する	週1回 以上する	月に1回 以上する	月1回より少な い、まったくしない
a. 政治や社会の問題について、家族と話をする。	1	2	3	4
b. 国内外のニュースを知るためにテレビをみる。	1	2	3	4
c. 国内外のニュースを知るために新聞を読む。	1	2	3	4
d. 政治や社会の問題について、友人と話をする。	1	2	3	4
e. 国内外のニュースを知るためにインターネットを利用する。	1	2	3	4
f. 政治や社会の問題について、インターネットや SNS 上でコ メントを投稿する。	1	2	3	4
g. 政治や社会の問題について、他の人の投稿に「いいね」 やシェアをする。	1	2	3	4

B つぎに、学校生活のことについて、うかがいます。

B-1 これまでに、次の a~j のことに意欲的に取り組んだことがありましたか。

	取り 組んだ	取り組ま なかった	わから ない
a. 学級のルールを決める話し合い	1	2	3
b. 総合的な探究の時間などにおける、個人のテーマを設定した探究的学習	1	2	3
c. 体育祭や文化祭など学校行事の企画や運営	1	2	3
d. 生徒会活動	1	2	3
e. 部活動	1	2	3
f. 職業体験やインターンシップ	1	2	3
g. 学級や学年、学校などの代表者として、弁論大会などで発表 (具体的に:)	1	2	3
h. 校内での環境を守るための活動(清掃活動を含む)	1	2	3
i. 地域社会でのボランティア活動 (具体的に:)	1	2	3
j. 海外での体験 (具体的に:)	1	2	3

調査票（高校生用）

B-2 日常の授業で政治や社会の問題について話し合いをする時、次の a~g のことはどのくらい思いますか。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
a. 先生は私たちに、自分の考えをもつように求めている。	1	2	3	4
b. 先生は私たちに、自分の意見を発表するように求めている。	1	2	3	4
c. 話し合いの中で、社会にみられる問題について話す人がクラスにいる。	1	2	3	4
d. 人と意見がちがっていても、自分の意見を言う人がクラスにいる。	1	2	3	4
e. 先生は私たちに、自分と異なった意見をもつ人の話をきくように求めている。	1	2	3	4
f. 先生は私たちに、話し合いのときにはいろいろな意見を出すように求めている。	1	2	3	4
g. 先生と異なった自分の意見を、ためらいなく発言することができる。	1	2	3	4

B-3 公民科の授業に関する次の a~d の意見について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
a. 公民科の授業は、受験に役立つ。	1	2	3	4
b. 公民科の授業は、好きな仕事につくことに役立つ。	1	2	3	4
c. 公民科の授業は、普段の生活の中で役立つ。	1	2	3	4
d. 公民科の授業は、自分の生き方を考えるのに役立つ。	1	2	3	4

C-1 つぎに、政治に関することについて、うかがいます。

(1) 1つの法律案について衆議院と参議院で議決の結果が異なる場合に、衆議院でもう1度議決をして法律案を可決させる場合の条件は、次の 1~4 のうちどれですか。

1. 出席議員の過半数 2. 総議員の過半数 3. 出席議員の3分の2以上 4. 総議員の3分の2以上

(2) 右の写真の人物が内閣総理大臣になる前に任命されたことがない役職は、次の 1~4 のうちどれですか。

1. 内閣官房長官 2. 衆議院議長 3. 総務大臣 4. 自民党総裁

(3) 憲法改正について、あなたの意見は、次のA、Bのどちらに近いですか。

A: 今の憲法は時代に合わなくなっているので、早い時期に改憲した方がよい。

B: 今の憲法は**大筋**として立派な憲法であるから、現在は改憲しない方がよい。

1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない



調査票（高校生用）

(4) 次の a～e の意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	わから ない
a. 社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関わりたい	1	2	3	4	5
b. 将来の国や地域の担い手として積極的に政策決定に参加したい	1	2	3	4	5
c. 私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない	1	2	3	4	5
d. 社会のことは複雑で、私は関わりたくない	1	2	3	4	5
e. 私個人の力では政府の決定に影響を与えられない	1	2	3	4	5

C-2 つぎに、法に関することについて、うかがいます。

(1) 次の文章のうち、正しいものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 日本国憲法は、国民の権利や自由を守るために、権力を制限する仕組みを定めている。
- 政治が誤った意見に基づいて行われることがないように、政治にかかわる意見を言う自由は、他の表現と比べて厳しく制限されている。
- 日本国憲法では拷問は禁止されているが、拷問によって得た自白が真実であるなら、その自白を有罪の証拠としてもかまわない。
- ある人の行為を処罰するには、その行為を罰することを、事前に法律で定めておく必要がある。

(2) 法についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。

- ① A. 「法律というのは守るためにあるのだから、違反した場合は必ず制裁を加えるということことできれば意味がない」
B. 「法律というのは状況によって制裁を加えるかどうかを判断すべきもので、文字通りに適用するのはよくない」
1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない
- ② A. 「死刑はどんなときにもおこなうべきでない」
B. 「場合によっては死刑もやむをえない」
1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない

(3) 次の a～d の意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
a. それぞれが自分の権利や自由を主張すると、みんなの調和を乱し、全体の利益や秩序が損なわれることになる。	1	2	3	4
b. 女性の社会参加を実現するために、就職の際に女性を優先的に採用すべきである。	1	2	3	4
c. 法律に違反しなければ、多少悪いことをしてもかまわない。	1	2	3	4
d. 他人に迷惑をかけなければ、赤信号を渡ってもかまわない。	1	2	3	4

C-3 つぎに、経済に関することについて、うかがいます。

- (1) 需要の変化が価格に大きな影響を与えていることは、次の1~4のうちどれですか。
1. キャベツが豊作のとき価格が下がった。
 2. 歳末セールでテレビの価格が下がった。
 3. 母の日にカーネーションの価格が上がった。
 4. 海が荒れて不漁のとき魚の価格が上がった。
- (2) 高校卒業後に就職せず、大学に進学することの機会費用と考えられないのは、次の1~4のうちどれですか。
1. 食費で買えた何か別のもの
 2. 授業料で買えた何か別のもの
 3. 書籍代で買えた何か別のもの
 4. 就職すれば得られた所得
- (3) 経済が完全雇用の状況下で急激なインフレーションが進行中の時に、それをもっともよく抑える金融政策と財政政策の組み合わせは、次の1~4のどれですか。ただし、どちらの政策も同額ずつ実施されるものとする。
- | <u>金融政策</u> | <u>財政政策</u> | <u>金融政策</u> | <u>財政政策</u> |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 国債の購入 | 財政赤字の拡大 | 2. 国債の購入 | 財政赤字の削減 |
| 3. 国債の売却 | 財政赤字の拡大 | 4. 国債の売却 | 財政赤字の削減 |
- (4) 経済についてAとBの意見があります。あなたはどちらの意見に近いですか。
- ① A「収入はもっと平等にすべきだ」 B「個々人の努力を刺激するようもっと収入の開きを大きくすべきだ」
1. Aの意見
 2. Bの意見
 3. わからない
- ② A「長い目で見ると、勤勉に働けば生活がよくなって成功するものだ」 B「勤勉に働いても成功するとは限らない、むしろ運やコネによる部分が多い」
1. Aの意見
 2. Bの意見
 3. わからない
- ③ A「他の人を犠牲にしなければ豊かにはなれない」 B「富は増えていくから、みんなが豊かになれる」
1. Aの意見
 2. Bの意見
 3. わからない

C-4 つぎに、倫理に関することについて、うかがいます。

- (1) 次の文章のうち、臓器移植ができる場合をすべて選んで番号に○をつけてください。
1. 事前に臓器移植に同意していた患者の、心臓が完全に止まった場合
 2. 事前に臓器移植に同意していた患者が、脳死状態になった場合
 3. 事前に臓器移植の意思表示をしていない患者が脳死状態になり、患者の家族が臓器移植に同意した場合
 4. 事前に臓器移植の意思表示をしていない患者が脳死状態になった場合（家族の同意は不要）
- (2) 臓器提供者をくじ引きできめることにします。くじ引きで当たった人の臓器を、その臓器を必要としている患者に移植し、命を救うのです。くじ引きは完全に平等に行われます。くじで当たる人は大統領かもしれないし、サラリーマンかもしれないし、医師かもしれないし、今にも自殺しようとしている人かもしれないし、犯罪者かもしれない。すべては平等です。

あなたはこの提案に賛成しますか、反対しますか。その理由を含めて教えてください。

賛成 ・ 反対 （どちらかに○）

(理由)

調査票（高校生用）

前の質問であなたが述べた意見は、AとBの考え方どちらに近いですか。

- A. 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する。
 - B. 行為の動機となる公正などの義務を重視する。
1. Aの意見 2. Bの意見 3. わからない

(3) あなたは、次のa~dのことが世の中で行われることについてどのように考えますか。

	認められる	どちらかといえは認められる	どちらともいえない	どちらかといえは認められない	認められない
a. 生まれてくる子どもに重い障害がある可能性が高い場合に、妊娠中絶をする	1	2	3	4	5
b. 受精卵に遺伝子操作を行い、性別や身体の特徴など親の希望に合わせた子どもをつくる	1	2	3	4	5
c. 不治の病で耐えられない苦痛のある患者が希望した場合に、医師が患者を苦しめない方法で死亡させる	1	2	3	4	5
d. 人の命を救うために、動物を医学実験に使う	1	2	3	4	5

(4) 次のa~jの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない
a. 家族のためには、自分の個人的利益は二の次にすべきだ	1	2	3	4	5
b. 集団の中では、全体の利益のために個人の利益を犠牲にするべきだ	1	2	3	4	5
c. たとえ理不尽でも、子どもは親の要求に従うべきだ	1	2	3	4	5
d. 集団の中では和を重んじ、いさかいをさけるべきだ	1	2	3	4	5
e. たとえ意見の不一致があっても対立はさけるべきだ	1	2	3	4	5
f. わたしたちは景気などの現在の問題をあまり重視せず、将来の環境問題に頭を悩ませすぎている	1	2	3	4	5
g. 今、わたしたちが日常生活でしていることは、ほとんど全てが環境を損なっている	1	2	3	4	5
h. 人類の進歩が環境を損なっていることを人々は気にしすぎている	1	2	3	4	5
i. 地球環境の保護よりも、経済成長を優先すべきだ	1	2	3	4	5
j. 経済発展は常に環境破壊をとまなう	1	2	3	4	5

調査票（高校生用）

D さいごに、18歳という年齢について、うかがいます。

D-1 あなたは、18歳という年齢を「大人」だと思いませんか、「子ども」だと思いませんか。

1.大人

2.子ども

D-2 では、なぜそう思いませんか。その理由としてあてはまるものをいくつでも選んでください。

【「大人」と回答した人はこの中から選択】

【「子ども」と回答した人はこの中から選択】

1. 18歳は十分歳をとっているから
2. 十分な判断力があるから
3. 責任感があるから
4. 自分の身の回りのことが自分でできるから
5. 身体は「大人」と変わらないから
6. 一人暮らしをしているから
7. 経済的に自立しているから
8. 結婚しているから
9. 自分の子どもがいるから
10. 選挙権があるから
11. その他
(具体的に:)

1. 18歳はまだ若いから
2. 十分な判断力があるとは言えないから
3. 責任感がないと思うから
4. 自分の身の回りのことでも、自分でできないことがあるから
5. 「大人」と言えるほど身体が成長していないから
6. 一人暮らしをしていないから
7. 経済的に自立していないから
8. 結婚していないから
9. 自分の子どもがいる人が少ないから
10. 選挙権がないから
11. 法律上、成人ではないから
12. その他(具体的に:)

D-3 2022年4月に成人年齢が「18歳」に引き下げられます。そのことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 18歳に引き下げられることは知っていたが、
2022年からだとは知らなかった
3. 知らなかった

D-4 次のa~qの内容について、「18歳」で適用することについてどのように考えますか。

	18歳より もっと早く ても良い	18歳で 良い	20歳で良い (18歳では まだ早い)	20歳でも 早い
a. 飲酒	1	2	3	4
b. 喫煙	1	2	3	4
c. 競馬・ポートレース・競輪などの公営ギャンブル	1	2	3	4
d. パチンコ・パチスロ	1	2	3	4
e. 罪を犯すと名前や写真が公開される	1	2	3	4
f. 親の同意なしで結婚できる	1	2	3	4
g. 国民年金への加入義務が発生する	1	2	3	4
h. 親の同意なしでローン契約・クレジットカードがつかれる	1	2	3	4
i. 親の同意なしで貸付契約ができる	1	2	3	4
j. 携帯電話や車の購入(契約行為)を一人でできる	1	2	3	4

調査票（高校生用）

	18歳より もっと早く ても良い	18歳で 良い	20歳で良い (18歳では まだ早い)	20歳でも 早い
k. 養子縁組ができる <small>ようしえんぐみ</small>	1	2	3	4
l. 10年有効なパスポートが作れる	1	2	3	4
m. 性別変更の申し立てができる <small>せいべつ</small>	1	2	3	4
n. 民事裁判を一人で起こせる <small>みんじさいばん</small>	1	2	3	4
o. 医師や公認会計士、司法書士などの資格取得 <small>こうにんかいけいし しほうしょし</small>	1	2	3	4
p. 選挙権が得られる <small>せんきょけん</small>	1	2	3	4
q. 裁判員に選ばれるようになる <small>さいばんいん</small>	1	2	3	4

D-5 よい大人の市民になるために、次の a~m のことはどのくらい重要だと思いますか。

	とても 重要である	まあまあ 重要である	それほど重 要ではない	まったく重 要でない	わから ない
a. 選挙で投票する <small>せんきょ どうひょう</small>	1	2	3	4	5
b. 特定の政党を支持する <small>せいたう</small>	1	2	3	4	5
c. 裁判員に選ばれたら引き受ける <small>さいばんいん えら</small>	1	2	3	4	5
d. 国の歴史を知っている	1	2	3	4	5
e. 新聞・テレビ・インターネットなどで時事問題の 知識を得ようとする <small>ちしき</small>	1	2	3	4	5
f. 政治や社会の問題にかかわる議論に参加する	1	2	3	4	5
g. 不当だと思うことには、平和的な抗議を行う <small>ふとう こうぎ</small>	1	2	3	4	5
h. ごみを減らし、再利用やリサイクルを行う	1	2	3	4	5
i. 環境に配慮された食品・商品を選んで購入する <small>はいりよ こうにゆう</small>	1	2	3	4	5
j. 地元産品を購入して地産地消を実践する <small>じもとさんびん こうにゆう ちさんちしょう じっせん</small>	1	2	3	4	5
k. 購入した商品やサービスに問題があれば、事業 者に申立てを行う <small>こうにゆう</small>	1	2	3	4	5
l. ライフステージや経済状況の変化等、将来を見通 した生活設計を考える	1	2	3	4	5
m. 地域社会のためにボランティア活動に参加する	1	2	3	4	5

質問はこれでおわりです。ご協力ありがとうございました。

小中高生を対象とした18歳市民力に関する意識調査
報告書

令和4（2022）年11月

令和2（2020）～令和4（2022）年度
日本学術振興会・科学研究費補助金（基盤研究B）
（課題番号：20H01670）

発行所 株式会社いなもと印刷
